第四千三百二十號（一）（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）THE KEIJO NIPPO 大正七年十二月十六日（年中無休刊）

京城日報

本紙定價 一部金參錢 壹箇月前金七十五錢▲郵稅拾五錢▲參箇月前金貳圓拾五錢▲六箇月同四圓五拾錢▲壹箇年同八圓拾錢▲郵券代用二割增
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢▲特別二號七字詰同三圓▲二號七字詰同二圓▲四號九字詰同一圓八十錢▲六號十七字詰一圓五拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局六六九番 營業部一六九番 守衞室三六九番 振替京城三〇〇〇番 …

時間表 [illegible]
大正七年七月一日改正現行

十二月十五日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇講和特使待遇研究 名稱は講和全權委員か

講和會議に列席すべき西園寺侯牧野男等の待遇法に就ては目下當局に於て夫々研究中なるが若し講和全權正使副使等の官制を設くるに於ては官制上外務大臣の監督を受くることゝなるべきを以て委員に全權を委ね十分に手腕を振はしむるを得ず依つて西園寺侯等をして其手腕を發揮せしめ何等拘束を加へず最も自由なる立場にあらしむる爲め聯合國政府の振り合をも斟酌し別に官制を設けず講和全權委員と云ふが如き名稱を附することに決定すべし（東京特電）

◇タフト氏國際聯盟演說

紐育來電＝米國前大統領タフト氏は其の國際聯盟に關する演說中に於て述て曰く『英國の生命は一に繫つて其英國出入船舶の安全如何に在り故に英國としては國際聯盟に依り自國の利益を保ち得べしとの安心を得る迄は有力なる海軍を維持すべきなり』（東京特電）

◇レニン獨革命評

倫敦來電＝露國過激派首領レニンは今次の獨逸革命を評して曰く獨逸の革命は十月革命式にて二月革命に非ずケレンスキー革命にしてレニン革命に非ずと云へり（東京特電）

◇英戰後徵兵問題

英國戰後徵兵問題に就き首相ロイド、ジョーヂ氏の發表したる意見左の如し（倫敦電報）
戰後政府が徵兵制度を保持せんとすとの風評は事實無根なり現行徵兵制度は戰爭の必要に應じて起れるものにして戰爭の終了により消滅するものなり

◇英巡洋艦沈沒

倫敦來電＝公報に曰く英國一等巡洋艦一隻波羅的海に於て機械水雷に觸れ沈沒せりと（東京特電）

◇藤井軍ウ軍前進遮斷

セ軍討伐の爲め齊多方面に進發せしウオルコフ軍は我藤井軍の爲め前進を遮斷され同時に武裝を解除されし爲め同隊長は佛軍ジャナン將軍にセ軍の武裝を解除せん事を要求せり（長春電報）

◇チ軍齊多招致

哈爾賓來電＝ジャナン將軍はウラル方面のチェック軍八梯隊をチタに招致せるが該梯隊は既にイルクックに向へり（東京特電）

◎海洋自由問題 英海相反對論

英國海相チャーチル氏の演說の一節として傳へられたる所によれば英國は講和會議に於て自國海軍の▲海上優越權維持に決し又英國に對し如何なる提議を爲すものあるも海軍防禦を維持する吾人の權利制限には絕對に反對するに決せりといふ英國海相の此言は頗る味ふべく又重大なる意義を有するものと解せらる即ち米國大統領の講和の基礎條件の一として數へたる所謂海洋自由等の問題に關し英米兩國間の意見一致せざることを明確に示すものなり米國大統領が海洋自由を提唱するに至れるは米國が未だ中立國たりし時自國の商船が獨逸潛水艇の爲めに擊沈せられ又英國艦隊の爲に商船の臨檢を受け米國の中立權は交戰國の爲に累次侵犯せられたるを以て

▲公海は自由狀態に置かんとせるものにして獨逸の之に和せるは此海洋自由の提唱を逆用して英國のジブラルタル或はマルタ等に於る海上權を撤廢せよと主張せんが爲めなり英國として是等の思想と政略的主張に同意する能はざるは當然なるべし何となれば英國は殆ど全世界に亘りて廣大なる植民地を有し此の植民地を保護するには強大なる海上權力を要し權力の生ずる所自ら自由は制限せらる、ことゝなる可し英國が其海上權を確保せんが爲めにジブラルタル海峽の要塞を有しモルタに其根據地を有するが如き英國としては當然と言ふべく海洋の自由を力說する米國自身が巴奈馬運河を開放すべきやも聊か疑問なりと云ふ可し海洋自由の問題は尙ほ頗る攻究の餘地ある問題なりと云ふ可く本問題に對する英國政府の態度も海相の言を通じて略想像するを得べしと

◎和蘭公使召還 原因は親獨行爲

支那政府は此程和蘭政府に對し北京駐剳和蘭公使ブロックランド氏の召還を要求せりとの報あり右に就き聞く所に依れば十一月二十八日北京に於て支那政府主催の戰勝祝賀會擧行に際し聯合側は支那當局に對し和蘭公使以下中立國公使中には親獨派跡からざるを理由とし聯合側との

▲同席に反對せるを以て支那當局は和蘭公使ブロックランド丁抹公使アーレーフェルト西班牙公使ドン、ポストロ氏の招待を取消したる所和蘭公使等は本國政府を通じて支那政府に抗議すべしと敦圉きたり是に於て支那政府は更めて支那の對獨宣戰以來和蘭公使が獨逸人の抑留問題、獨逸人逐放問題、德華銀行閉鎖等事每に支那政府の行動を妨害せる等の事實を指摘し斷然和蘭公使の退去を要求するに至れるものなりと尙ほ過般上海に於て支那官憲が犯罪獨逸人を處分せんとせるに獨逸の利益を代表せる上海駐在和蘭領事は之に反對し右

▲犯罪獨逸人の引渡を要求せり對獨宣戰後獨逸の支那に於ける領事裁判權は當然消滅せるにも拘らず和蘭領事の此の行動は明かに敵國人保護と見るべきものなり之に依つて見るも支那に於ける和蘭官憲の親獨的行動を知るに足るべく要するに支那政府の和蘭公使召還要求は至當なるべしと

◎哈市經濟悲境

臨時獨裁官たるコルチャクに對する強硬なる態度は遂に兩者の暗闘を爆發せしめコルチャクはセミヨノフを以て國賊となし討伐の軍を出すに至り延いてセミヨノフ對ホルワットの暗闘も遂にこゝに最後の幕を演ずるに至り極東の事は茲に再び益々多事ならんとす尙ホルワトは東淸鐵道廳に對してセミヨノフ軍軍需品の取扱を嚴禁せしめセミヨノフ軍が後貝加爾にある貨物を全部抑留したりとの理由にて更に全部西行貨物の運輸を停止せしめたりと云ふ、露國經濟救援が正に漸く其緖につかんとするの時に當りこの運貨停止は北滿の經濟界に及ぼす打擊頗る大なるものあるべく哈爾賓を中心とする商界は再び禁出當時の悲境に陷らんとしつゝあるものと云ふべし既に後貝加爾に對して輸送を終り居る貨物に對しては其の貨車番號品目詳細に調査中なる由

◎對露貿易出超

日露協會最近の調査に據る十月中對露貿易額は輸出四百七十萬五千百十圓輸入三十六萬八千二百四十四圓差引出超四百三十三萬六千八百六十六圓にして之を前月に比すれば輸出に於て二百七十四萬八千九百三十四圓の增加を示せるも輸入は二十三萬六千四百十九圓の減少なり尙本年一月以降の累計額を前年同期に比するに輸出は一千百十三萬七千九圓を增加して一千九百九十九萬七千七十九圓輸入は三十八萬三千七百七十三圓を減じて四百三萬八百七十二圓となれり十月分主要貿易品中五萬圓以上のものを擧ぐれば左の如し（單位圓）
▲輸出 玉蜀黍二、四〇一、二四〇▲林檎九八〇、七五三▲精糖五〇五、二四八▲綾木綿五四九、一九八▲綿フランネル六六四、〇八九▲生金巾及シーチング四一二、六六〇▲太綿布一三七、七三五▲雜貨五二、九四〇▲絹製品五九、一七八
▲輸入 豆類五九、六九六▲豆粕八、五二九（東京）

◎鑛業令改正に就て ＝村田鑛務課長談＝

今回朝鮮鑛業令の一部を改正し金銀、鉛及び鐵に對する鑛產稅を免除し本年度分より適用の事となる可き旨十六日官報制令を以て公布さる可き事は十四日夕刊所報の如くなるが右に就き村田總督府鑛務課長は曰く『今回改正の內容は既に發表された通り頗る簡單で別に說明を要するものではないが金の產出が戰亂以來

▲非常に減少した事は事實で之れは賃銀及び精鍊用藥品等が騰貴して生產費用は戰前に比して數倍して居るにも拘らず理屈上價格に變更のない金は之を値上げする事は出來ぬので當業者は操業上不利益である爲めである然も金の產額を減少せしむる結果となるので當局としては出來得る丈け產出の獎勵を圖らねばならぬと思ふ今回の免除も其一つの方法であるが朝鮮の金は鑛產物中少くとも今日迄は主位にあつたものであるから免除も當然のもので無く進んで更らに

▲適當の方法を講じたいと思つて目下此等に關しては考慮中である、鐵は價格の騰貴に伴り本年はよほど產出額が增加した樣で當局の收入には多少影響はあるであらうが朝鮮としては之位の事は犧牲にしても採掘を獎勵すべきである第一今回免除になつた諸鑛物は內地に於ては既に免除になつてゐるもので朝鮮丈けが課稅せらるゝと云ふ事は從業者の心持に非常に影響する事で免除に就ては夙くから考へてゐたが諸種の事情で今日公布を見る樣になつたが年內に發表さるれば本年度は免稅が出來るので何等差支は無かつた譯である內地でも

▲鐵の免稅は昨年の末であつたが之に依て如何程の獎勵が出來て產額を增加したかに就ては稍程觀察が至難である何故なれば戰亂に依る鐵價の騰貴は素晴らしいもので三十五圓乃至四十圓邊の銑鐵も四百圓から一時五百圓を唱へた事もある位で鐵を掘れば儲かる事は素人でも判るので產額の增加は一に此の價格騰貴の爲めと見るが至當であらうと思ふ本年の產額は統計が的確に判らないので今回の免除に依る鑛產稅額がどれ位に上るかは正確に云ひ得ないが金は約三萬圓內外、鐵鑛は

▲本年は餘程增加の見込で二十萬噸乃至三十萬噸の間にあるであらうから約四千圓又鐵鑛は四萬噸として十二萬圓位鉛は極めて尠少である尤も遂安、雲山、昌城の特許鑛山は此の適用を受けぬ事になつてゐる』

◎募債法律改正 大藏當局意嚮

大藏省が來議會に提出して其協贊を求むべき法律案に就ては目下同當局の審議中に屬し未だ決定の運びに至らざるも歲出歲入豫算の關係より見て當然提出さるゝは大正三年臨時事件の經費支辨に關する法律の改正とす同法は大正五年二月の制定に係り當初該經費支辨の爲め政府をして特別會計の資金を繰替使用し

▲又は借入金を爲すを得せしめたるに過ぎざりしが爾後の改正にて公債をも發行し得る樣變更を加へ其募債金額を借入金及び公債を通じて八千八百萬圓以內とし現に本年度の豫算編成に際して計上せる臨時軍事費並に臨時事件費として約一億三千百萬圓中約五千四百萬圓の財源を公債募集金又は借入金に求むる計畫を立てたり（實際には未だ募集せず）然るに西伯利出兵の實行と物價の騰貴とに依り豫定外に經費の膨脹を來し既に國庫剩餘金の責任支出を以て支辨し得る丈けは支辨せるも尙

▲巨額の不足となり議會の開會を待ち之が爲め追加豫算を提出せざる可らざる破目に陷りたるが其金額は今日の所未だ明瞭を缺き若し過日傳へられたる約一億圓は軍事費及び事件費兩費目の合計にして全部之を募債に據るものとせば法律上の限度八千八百萬圓との間に千二百萬圓の差額を生じ取敢ず其限度を一億圓に擴張するの法律の改正を斷行するの必要あり況んや明年度の臨時軍事費は約二億圓に上る見込にて之亦全部

▲公債募集金に財源を求めんとするに於てをや即ち結局政府は同法に揭げたる『借入金及び公債の額は通じて八千八百萬圓以內と』あるを『三億圓以內とす』と改正するに至らんか次には臨時國庫證券法の改正にして既に政府は外國爲替資金調達の爲め明年度に於ても同證券を發行せんとする意嚮を有するも今や現行法に揭げたる五億圓の殆ど限度迄發行濟みとなり幾何の餘裕も無き狀態なれば之を八億圓に擴張するの法律改正案を提出する事は察するに難からざる也其の多年來の懸案たる信託業法の制定に伴ふ法律案の提出及び二三特殊銀行の組織改善に資する

▲法律改正案の提出亦問題となれるも前者は信託業の實體を規定すべき信託法の制定に對する司法省の態度の未だ決定せざる場合なれば恐らく來議會には間に合はざるべく後者に至りては現大藏當局の方針として最近兩三年に見たるが如き頻繁なる改正を出來得る丈け回避するに努め居るを以て餘程重要の關係無き限り實現せざるものと解すべしと（東京）

◎時局商品低落 市場影響弱し

時局商品たる染料藥品等の暴落が京城市況に與へし影響は如何と云ふに何分今夏來時局商品の取扱店は十二分に前途の警戒を怠らず手持ちを堅にする如き商策は全くとらず內地に買約を締ふるには需要者よりの註文に接して初めて之れをなす等の手段に出で居りしため大阪神戶に於ける如く格段なる惡影響を受くるものはなき模樣なれど兎に角市價の急落と共に註文品の取消しを求むるもの若干あり又在庫品の値下がりは多少の打擊を避くべからず勞働問題以來積み立て來れる利益の幾分の吐き出しは免れ難きものの如し然も大勢の不況にある商店二三に留まらざるに拘らず京城歲晚の商況が活氣を帶べるはその程度の大ならざるを語るものなりと某有力者は語れり

◎綿布先物取引の警戒 福喜閉店影響

大阪福喜洋行京城支店が本店の倒產により閉鎖同樣となりしは既報の如きもその破綻となれる二十萬圓に上る巨額の取組高は綿布の先物取引なりしため共益社高瀨松前その他の各商店も直ちに

▲現實の損失を受くる譯にはあらざれども然も福喜支店に買込み約定を整へ居る各店は大阪より先物の買約定をなし居れるにつき福喜支店閉鎖し先物引取り破談となれば買方に立てる各店は自然その買込み現物を他方面に處分するの餘儀なき場合に立至れり此の際綿布相場が先高の一路を辿るものとすれば各商店は福喜の閉鎖により反て騰貴の利益を得る譯なるも休戰の結果歐米品の侵犯と銀安に基づく支那印度方面に對する輸出の不利等は綿布市價の前途に樂觀を許さず從つて目先相場の

▲低落の程度如何により各店の受くる被害は存外少額ならざるや圖り難き模樣あり唯今回の福喜事件は鑛事件と異なり關係商店數多からず鑛商店の如く現品受け渡しに基づく不渡り形の亂發に非ざると更に金額も鑛の不始末に比し二分の一弱に過ぎざるため市界の受くる波動は存外弱けれど石事件の發生以來綿布先物取引の警戒は從來に比し一層嚴となれる模樣ありと

◎淸津滯貨消化

一昨年並に昨年輸出向需要旺盛の結果滯積出激增せし間島並に北鮮特產小豆元豆は引續き本年も生產物の增し居れるが休戰と生產豫想の影響を受けて價格は昨年の好況時に比し約五割內外に低落せし爲季節柄出貨激增目下淸津埠頭に約一萬噸六萬石の滯貨あり然も同港の滯貨の消化は近く浦鹽航路の定期入港する日本郵船の山東丸營口丸の兩船にて約四千噸を積み取るべく商船の定期船にて一千五百噸を搬び去り更に朝鮮郵船にて近く配船する大保丸並に同社船平安丸出雲丸越後丸あり互光商會の配船もあり一月に入らば概して積み出し得べしと

◎ホップ栽培適否

最近奉天商業會議所にては滿洲各地に於ける麥酒製造原料としてのホップ栽培の適否に關し發表したるが要領は麥酒製造原料としてのホップは歐洲戰亂勃發後甚だ輸入に困難を感じ日本內地に於ては北海道及び東北地方甲信地方等に耕作し滿洲に於ては札幌麥酒會社の原種に依り公主嶺の滿鐵試驗場及び沙河口の都督府試驗場に於て試作し前者は既に三年に及び居れるが兩者とも本年度の成績は甚だ良好にして今後耕作上に關する經驗を積むに從ひ滿洲各地とも相當の成績を收め得べき模樣なり只恐るべきは開花期に於ける風害なるが此の點より云ふ時は州內の方却つて有望なるが如く之と同時に種類に於て成績を異にし一般に早手の種類良好なるが如しと

◎移出生牛增加

去る五月十九日以降十一月十九日に至る間の北鮮牛移出狀況を聞くに移出總頭數は牝牛四百十二頭牡牛三十七頭計四百四十九頭此價格三萬三千廿九圓六十錢にして之を仕入地別にせば元山より二百一頭咸興より二十九頭永興より百三十五頭高原より三十五頭咸北より帆船にて元山揚げのもの四十九頭を示し猶ほ横斷航路に依り移出されたる仕向地別を示せば京都六十頭下關七十七頭大阪二百七十九頭兵庫卅三頭を算し主として耕作用なるが內地に於ける北鮮牛聲價は相變らず好評を以て迎へられつゝあれば前途益、移出數を增加するに至るべしと

◎兩行引繼終了

朝鮮銀行新義州並に馬山出張所は既報の如く十四日を以て閉鎖せるが兩出張所の業務は同日午後四時締切りの現計を以て殖產銀行に一切の引繼を了し殖產銀行新義州並に馬山兩支店に全部の引繼ぎをなしたり新義州には有賀殖銀理事横山鮮銀庶務局長馬山には中村殖銀理事龜島鮮銀檢查役各出張引繼ぎに立會ひ十五日馬山新義州共に有賀中村兩理事は官民有力者を招待して披露宴を張り殖產銀行の營業方針等に付詮議する所ありたりと

▲馬新殖銀移轉 馬山に於ける從來の殖產銀行支店は派出所とし鮮銀出張所を馬山支店と改めたり又從前の新義州支店行舍は之を引拂ひ新に引繼ぎを受けし鮮銀出張所の營業物を支店となせり

◎上旬鮮鐵收入

十二月上旬に於ける朝鮮鐵道の收入は客車二十一萬七千九百五十五圓貨車二十五萬一千六百八十八圓合計四十六萬九千六百四十三圓にして前年に比し十三萬二千圓の增收也

◎滿蒙纖維會社

最近奉天商業會議所の調査する所に據れば帝國製麻會社の援助に依り資本金二百萬圓を以て奉天に設立さる可き滿蒙纖維工業株式會社は滿蒙產麻纖維及び苧麻を原料とし麻袋及び帆布口繩等を製造すべき目的を以て着々其の步を進めつゝあるが麻袋は人の知る如く滿洲輸入貨物中重要なるものにして昨年度輸入は二千百四十萬六千三百枚價格三百四十九萬二千三百二十圓の多額に上りたりと而して其後需要增加の一方なるに係はらず從來の原產地たる印度は該品に對し輸出禁止法を採るらしき傾向あれば之が自給策として帝麻其他の產地として有望なる滿蒙に於て該事業を經營せんとするものにして原料の取引其他の關係より天津に支店を設置すべしと

◎今村財務官通過

朝鮮財務官今村次吉氏は十五日釜山上陸直ちに北行せり（釜山特電）

人事

▲菊地謙讓氏 十四日夜大邱釜山方面へ向ふ十八日朝再入京の筈
▲長野虎太郎氏（本府新報出錄）十三日入京
▲韓相龍氏 東上中なりしところ十五日夜歸京
▲淸水澄氏（高等法院判事）韓山擬發の爲め長崎縣小濱に向け十五日朝出發
▲川上東拓理事 庶務課長米山久彌氏帶同滿洲視察中のところ十六日午后七時廿五分南大門驛着列車にて歸京
▲遠山熙氏（鮮銀東京支店詰）此程東上せし氏は麻布區本村町一一六に寓居せり

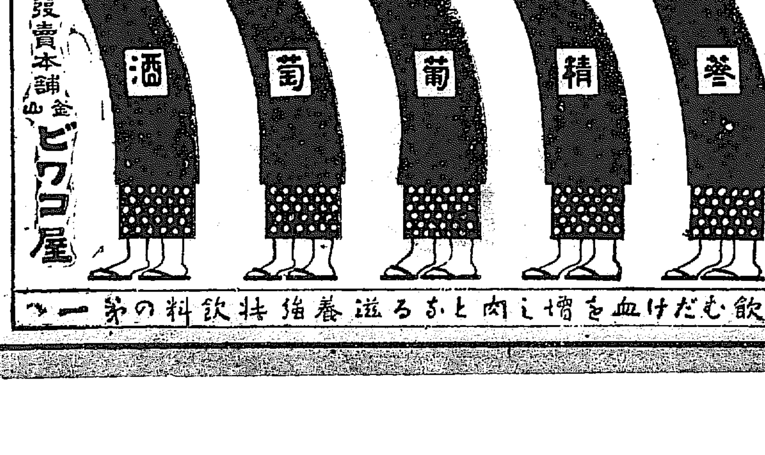
八面鋒

◇全國商業會議所聯合會に於いて決議せる米價調節策なるものを報じ來る。其一にいふ、外國米の輸入を獎勵し、輸入稅撤廢の外運賃を輕減することゝ等の方法に依り、之を低廉ならしむるの方法を講ずることゝ。こは何人も考へつく平凡の措置なり。◇其二にいふ麥類の輸入稅を撤廢し、直輸入を獎勵することゝ。是も一方法には相違ないが、さて現在の日本人の米が高いからとて、直ちに麥を代用食料とするや否やは疑問なり。論より證據、食料問題の俄然として昨年に起りたるは、從來粗食に甘んじたる下級民が、戰時金廻りの好きより、一齊に米食に轉じたるに由る。既に米の甘きに慣れたる口に、麥の代用を勸むるも、其實行は頗る困難ならん。◇第三にいふ、朝鮮米の移入を增加し、特に之がために朝鮮に對して、外米の輸入を獎勵すること。朝鮮の者ならば不味き外米でも喜んで食ふだらうとの想像らしきも、是もどうやら實行覺束なし。但し朝鮮より內地に移入する米額の年々增加し、來年頃は優に一百萬石ぐらゐに達すべしとの觀測あれば、此段は安心して然るべし。◇其四にいふ、米の輸出制限を勵行すること、是は勿論の事たり。◇其五にいふ、內地米消費の節約として、代用食料品消費の獎勵を全國に普及する方法を講ずること。此項前段には酒造米又は菓子製造米を含みあるや否や不明なるも、米消費の節約は第一に之に求めざるべからず、何故に明白に之を揭げざるや疑問なり。◇更に必要なるは農家の措置に對し、適當の措置を講ずるの一事なり。中農以上は昨年來の懷合非常に溫かなるを以て、高價を氣構へて容易に賣出しを肯ぜざるは、何處も同じ。之がために需給の間に不平均を起しつゝあるは掩ふべからざるの事實なり。◇山本農相が所謂傳家の寶刀も、近く鞘を拂はざるべからざるの時機あるべし。自然成行に任すといふことが、必ずしも褒めたことにあらざるなり。

職業 原紙貨與熟練日收貳圓位 全國市郡特約店募集 三晃商會總本店
遠近男女晝夜共自宅にて簡易に出來るキレイな仕事年中無休取引確實設備完全取扱懇切販路多大有利確實本業又は副業を得て富致を希望する方は速時申込あれ●見本付說明書實況寫眞入御希望は郵券拾五錢送
東京市本鄕區本鄕一丁目八番地大通 電話下谷三三五四番 振東四一四七七

お正月と煉り香
お床には正月の御飾ーお火鉢には梅か香の清香ー此二つは梅に鶯のように離れられません
目錄御一報次第呈送
梅か香 靑竹入貳拾錢 白竹入五拾錢 箱入壹圓
若松 箱入參拾錢
まつ風 一番五拾錢
千鳥 同壹圓
此外各種 內地送料八錢
京都寺町 振替大阪六三八 熊谷鳩居堂

資本金壹百萬圓 諸積立金參十貳萬五千圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
電話五五八、長六八一、三二〇七 振替京城一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰 支配人 豐田明敬
南大門支店 電話四三〇二番 振替一七〇二番
本町支店 電話一五八二番 振替二九四番
仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番
群山支店 電話六二番 振替五七四番
利川支店 振替三五二番
東大門支店 電話一八六三番 振替三八五〇番



◎師走の十五日＝歳暮の景氣づけで賑つてゐる本町二丁目＝けふから町内聯合の歳暮大賣出しがはじまる！

◇朝の晴雪を愛で給ふ

禁苑の御縁近く進ませ…… 兩陛下御詠ありたるやに承る

十一日の初雪は淺き所にて二三寸深きは四五寸にも及びたるが仰ぎ見る大内山禁苑の樹々の梢にも時ならぬ花を裝ひ別けても御座所に近き老松古竹に懸る趣き得も云はれざれば畏くも 兩陛下には御縁先近く玉歩を運ばせられ朝雪の御詠數首をものせられたるやに漏れ承はる來る初春の御歌始の勅題は恰も『朝の晴雪』といふにあれば一入御興を惹き奉りたることゝ拜察す（東京）

◎露暦を改め西暦に

露國にては露暦を西暦に改め來る新年より實行する筈なるがクリスマスは露暦にて行ふ可しと（同上特電）

◎南洋警備驅逐隊交代

佐世保在泊中なりし第二十五驅逐隊の松風、野分、白雲、霰の各艦は第十三驅逐隊と交代し南洋警備の爲め十二日朝新嘉坡に向ひ出港せり（佐世保電）

◎撃沈船の損害賠償

戰禍の三十隻十三萬噸に關して

■講和會議に附議さるべし

獨逸潜航艇の爲めに撃沈されたる日本汽船に對する損害は社外船主代表者にて特設されたる戰時船舶損害調査會と遞信省との往復折衝の結果要求額は凡て最も公平穩當の算出方法に出づるに決し

船價 の如き休戰條約成立調印當時を標準とし夫に伴なふ載貨積載食料燃料死亡者遺族弔慰金乘組員所有物等の賠償金共に減少限度を以て計上され其成案は牧野特使一行出發前日同會より遞信省に

提出 同省はそれより先提出濟なる日本郵船會社の同樣損害要求調査並に遞信省自身の調査を一括し特使の手許に廻附されたれば來るべき講和豫備會議若くは講和會議に

聯合 國側と共に附議さるべく而して該日本船損害賠償船として計上されたる獨潜航艇に依る戰禍船總數は三十隻十二萬四千五十五噸（總噸數）にして其船名總噸數船主遭難順左の如し因に左表中千歳丸報國唐山の三隻は乘組全員共に危險海面に失踪し獨艇の撃沈と認む可きもの又第七雲海丸は印度洋上にて喪失爆沈せるものにて同じく敵手に依り禍害を受けたるものなり

船名	總噸數	遭難年月日	船籍	船主
千歳丸	四、三四〇	同一、一五	大連	辰馬汽船
報國丸	四、七二〇	同一、二、一〇	大連	南滿洲汽船
八阪丸	一〇、九三二	同一、二、三	東京	日本郵船
建國丸	三、三三三	同一、三、元	大連	南滿洲汽船
大逸丸	三、八四一	吾 六、二四	鎭水	中越汽船
小樽丸	三、〇八〇	同 八、二	鎭水	中村精七郎
天明丸	三、二三四	同 八、一〇	湖江	白洋汽船
永田丸	三、五三三	同 一一、三〇	朝鮮	永田三十郎
多喜丸	三、三〇八	同 三、一六	鎭水	松昌洋行
青島丸	三、五一〇	六 一、四	大連	松昌洋行
第三喜佐方丸	三、五九七	同 一、一〇	西宮	山下汽船
眞盛丸	三、八〇七	同 三、二九	西宮	原眞一
澤丸	三、四四三	同 三、六	鎭水	大澤德太郎
泰山丸	三、五七七	同 五、二	大連	橋本汽船
唐山丸	三、四六六	同 五、七	加賀	松昌洋行
宮崎丸	七、八九二	同 五、三一	東京	日本郵船
第七鎭海丸	三、一四三	同 六、三〇	鎭水	中村精七郎
神機丸	三、三三五	同 七、二	大連	神機汽船
信貴山丸	三、八〇三	同 七、二	朝鮮	橋本汽船
彰化丸	四、二五六	同 七、二〇	八幡	農商務省松昌洋行貸下
萬代丸	二、八九九	同 八、一五	神戸	大正汽船
彦山丸	三、五五四	同 一〇、二	尼崎	橋本商船
[illegible]丸	三、一六六	同 一〇、一〇	河野	帝國汽船
生駒丸	三、〇八七	同 日	尼崎	大正汽船
常陸丸	六、五五七	同 一一、初旬	東京	日本郵船
出島丸	三、〇六六	七 一、二九	大連	田中汽船
大天丸	四、五五五	同 六、二六	大連	松昌洋行
德山丸	七、〇三三	同 八、二一	東京	日本郵船
平野丸	七、九三五	同 一〇、四	同	同社

◎獨逸民よ

英國歌に脱帽せよ

▼占領地帶に警告す

アムステルダム來電＝英國占領地帶官憲は布告を以て獨逸人民に對し英國々歌合唱の場合は帽子を脱ぐべしとの警告を發したるが此報道はベルンよりの來電に依りて確かめられたり（東京特電）

◎大西洋横斷飛行

百人乘飛行船で四十時間

獨逸飛行機工場は既に旅客專用船機製造所に改造せらる

獨逸の飛行船飛行機工場は既に旅客專用の船機を製造する商業的建築物に改造せられたりツエッペリン飛行船工場の支配人ラッシュ氏の語る所に依れば大西洋横斷飛行の爲九個の發動機及び八個のプロペラーを有し百人を容るるに足るツエッペリン飛行船を製造しつゝありと尚氏は平和となれば七月には四十時間を以て大西洋を飛行せん事を希望せり（倫敦電報）

◎梁起鐸

＝寺内前總督暗殺陰謀者＝

◇天津で捕はる 總督府に引渡す

寺内元帥が朝鮮總督時代に暗殺陰謀の計畫暴露し六年の懲役に處せられたるも

◆即位大典 の特赦に浴し出獄したる朝鮮平安南道江西郡龍淵面泉洞現吉林省東寧縣無職梁起鐸（四八）及び咸鏡北道清津府浦項佐開島勇習社學校敎師張鎭宇（三〇）の兩名は其後同島滿洲西伯利方面に渉り汎ゆる手段を以て滿鮮人間に排日思想を鼓吹し巧に其蹤跡を晦まし居たるが最近革命派の支那人と共に天津に入込佛租界佛照樓を根城に

◆流言蜚語 を鮮人に傳へ排日を鼓吹する一方詐欺的行爲に依り資金を調達せんとしたる事發覺し其筋に檢擧せられ取調の結果沼野總領事は在津禁止の命令を發し朝鮮總督の意嚮に據り本人等を總督府に引渡す事に決し十一日大連行濟通丸にて大連迄押送し同地にて總督府に引渡す筈なりと（天津）

◎大阪築港の倉庫火事

十四日午前三時四十分大阪築港棧橋北側大阪市有保税倉庫の一部より發火したるが火の廻り速かなりし爲め瞬く間に是を燒き盡し隣接せる税關築港出張所、監督派出所其他バラック建百坪を全燒し更に三井物產數箇所を烏有に歸せしめ四時漸く鎭火せり原因其他目下取調べ中（大阪特電）

◎電信電話 雪の被害

東京京城線其他

十一日降雪の爲め電信電話線に被害多く極力復舊に努め居るも去十二日午前九時東京より不通のもの電信にて小樽、函館、三宮、京城線は各二同線の中一宛札幌は三同線の中二、長崎は四同線の中一、大阪は七同線の中四にて尚電話は大阪九同線の中五にて電報の不通線は努めて他線を迂廻する關係上幾分の遲延は免れ難しと

◎京都府會瀆職

收監者三十四名

驚くべき腐敗を一世に暴露す

京都市會瀆職事件が多年京都市政界に伏在し居たる驚くべき腐敗を赤裸々に暴露し一世の耳目を聳動せしめたること今尚ほ讀者の記憶に新なる處なるが之に關聯して發生したる京都府會の瀆職事件も亦之に讓らざる

▲醜怪事件 たり府會議長議員、府參事會員等の續々收監せらるゝのみならず遂には木内前京都府知事、三矢同警察部長、寺崎土木課長、金ヶ原刑事課長等相踵いで檢擧せらるゝに至りしが事件發展の中途に於て其筋より

▲新聞記事 を禁止められ其醜を掩うて今日に及べり而して十三日解禁の命に接したるも尚豫審中に屬するを以て遺憾ながら其内容を報道するを得ず（京都特電）

◆收監者卅四名

元知事貴族院議員 木内重四郎
元警察部長 三矢宮松
元土木課長 寺崎新策
元警察部刑事課長 金ヶ原武雄
元府會議長 堀田康人
元府會副議長 田中平藏
實業家 内貴清兵衛
元府會副議長 縄井孝三郎
元府參事會員 山内寛次郎
元府會郡部會議長 江羅直三郎
元府參事會員 並川笑慶
同 五十棲職夫
同 白須重右衛門
元府市會議員 石田喜兵衛
同 淺見孝太郎
同 河原崎文二
同 大槻一象造
同 布浦利三
同 北村利太郎
同 山下元治
同 小笹新太郎
同 谷口慶次郎
同 古川勝次郎
元市會議員 上野捨次郎
同 柏村長三
郡會議員 谷口庄兵衛
金貸業 矢野長藏
實業家 奥田久兵衛
橋本遊廓取締 福井寅吉
宮津遊廓取締 岸市三
福知山猪崎遊廓取締 岡田常助
伏見中書島遊廓取締 芝田小三郎
舞鶴朝代遊廓取締 西野房吉
舞鶴龍宮遊廓取締 淺田角太郎

◎出征地より舊惡の爲軍醫を召還

目下西伯利出征中なる豫備三等軍醫安河内紫は久留米聯隊附たりし當時娼妓の健康診斷に關し百六十圓收賄せる事件にて大審院にて懲役一年の判決を受けたれば召還することに決せり（小倉電報）

◎我國の碁風を傳へるため

圖支那の碁界は旺んである

段祺瑞氏に聘せられた廣瀬六段談

六段廣瀬平治郎氏が、段祺瑞氏の招聘に應じて我國の碁風を傳へる爲めに九月上旬支那に渡り、滯在約三箇月の後、十二日午前、初雪の朝を踏んで歸京した氏は快活に語る『昨年日本に來た顧思公氏の紹介で段氏の招聘に預かつたので日本の圍碁を傳へる事を主として出掛けた主に北京に滯在し

◇段祺瑞氏 王克敏氏の許で多數と手合せしたが、舊知の顧氏も大分あつて愉快であつた、段氏は非常に多忙な體で、ちよいちよい顏を出す位であつたが却々甘い王氏は側で觀る丈けだが、斯界の發達を圖る事に非常に熱心で」私にも種々好意を寄せて呉れた、北京は五百人からの同好者を有して

◇中心地の觀 あるが、既に素人と玄人の別が我國の如くに立つて居らず、今後が活躍期でせう、尤も二十年此方留學生等を介して、日本風も大分紹介されて居るが私の今回の行が聊かでも向上の資料になつた事と思ふし努めて我國の棋界を紹介して來た、目下

◇北京では 顧思公、伊關、王熹庭の三氏が強い方で私には大抵三四目置くが中にも顧思公氏の進境は著しく目立つて居つた』

◎屑屋の大將に

なるのが望みの法學士

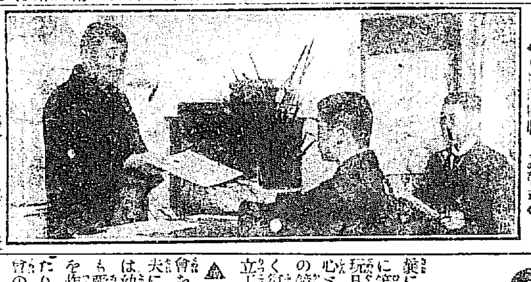
本鄕東片町十二番地に屑屋を始めた人があるが店の主人公と云ふは三十前後の瀟洒たる青年で大山日正夫（三十一）と言ひ大正六年東京帝大出の法學士である柔道の心得もあり寺崎伯に就いて日本畫も學んだといふ多趣味な人物で非常に美術が好きな爲め乾燥無味な會社や月給生活よりも心の向いた趣味の生活をしようと古道具店を開業する事になつた、古新聞、古雑誌なども扱ふと云ふ風で上流の家庭にも出入してゐる氏は今後屑屋の大將株になつてこの社會を矯正すると云つてゐる

◎日出度い職工表彰式

京城印刷組合の催しの職工表彰式は十五日長谷川町の銀行集會所樓上で三年以上の勤續職工六十五名に對する表彰式を擧行した組合員内鮮職工數十名（代表者のみ）の外來賓として金谷府尹、小宮田本町署長、釘本商議副會頭、大村同書記長等の列席があり定刻よりも一時間遲れてカッキリ十一時と云ふに擧式となる明石組長の

△式辭朗讀 が濟むと金谷府尹、小宮田署長、釘本副會頭の順序に祝辭祝詞があり是に對して表彰者總代松下紳一郎が答辭を述べ明石組長の手から各工場の總代へ表彰狀及び賞品を授與して十一時三十分に式を閉じたが受賞者の顏は何れも壓へ切れぬ歡喜の色に輝いて居た

△他の仕事 に轉業する者の多い此節同一場所に腰を据ゑる者の少い此節斯多數の勤續者が居るなどは聞くだに嬉しい話で是は獨り印刷組合のみの誇りではあるまい式後來賓及び組合員は別室で午餐を共にした



◇京城印刷職工表彰式◇

◎爲替時間延伸

年末に際し爲替貯金の利用劇增の爲め京城郵便局に於ては來る二十一日より三十一日までの間日曜日は午前九時より午後二時迄（平時は正午十二時迄）其他の日は午後五時迄（平時は午後四時迄）取扱時間を延伸し充分公衆の利便を圖る可しと

◎輸出玩具の

復活の爲めに 講習會開催

歐洲大戰の爲めに米國の經濟打撃を被つて失墜に等しい悲慘な境遇に陷つた輸出玩具製造業者が府下日暮里邊を中心として少からず有つたが、講和の鐘の響くと共に彼等の事業も漸く復活の望みが現はれた、そして府立工藝學校では斯業振興のため

▲明春匆々 輸出玩具講習會を開く計畫である、石黒校長は夫に就て曰く『從來の製造振りには幼稚な點が多い、外國では少しも愛嬌にはならない點がある人形を作つたり顔のやうな顔ばかり着けたりして輸出先きで笑はれてる等の話がある玩具は輸出向の

▲形狀圖案 や裝飾方法、更に材料の研究を試みるためであるが、戰前獨逸では材料にコンポジションと稱する練物を使つてたが其成分は極秘にしてゐた、併し我國にも輕漢土と云うて沼澤地の底の根の腐れ土を用ひ、或はパルプの下等品を材料としてセルロイドの玩具さへ製造し得る程に進步して居るし獨逸製の今日我製造が世界に覇を稱へるのは難作あるまい』（東京）

◎元山遊廓請願

元山遊廓移轉の期限切迫せるも工事關係上迚も年内には移轉竣成覺束無きより各營業者は豫て善後策講究中なりしが兎に角工事の現況を詳細陳して大正八年六月三十一日迄延期を請願するに至れり

◎女に迷うて

慶北慶山郡慶山面士亭洞山崎某方の店員山崎數衛（三）は本年の七月頃大邱に來り八重垣町遊廓妻鶴樓の娼妓笑子に現を拔かし遊興費に窮したる結果惡心を起し取引先なる河陽李某外二名の氏名を冒用し同人等名義の約束手形五通（金額五百二十圓）を僞造し尚大邱東門町自轉車商蒲田方より時價三十九圓の中古自轉車一輛を騙取したること發覺し目下大邱署にて取調中

◎今年は……

大い盜難

月が多い

コソ泥が例年になく尠い

毎年十二月に入れば盜難の被害件數が激増する。其中でも所謂コソ泥が大部分を占め百圓以上の盜難件數は割合に尠い例を示して居る。ところが本年は此の例を破つて十二月に入つても一向コソ泥は殖ゑず大きな盜難が多い。本町署管内に於ける日々の盜難屆けに依つて見るもコソ泥に屬する盜難件數は一日十件平均位であつてコソ泥の多い京城としては例月と殆んど異りがない。之は下層鮮人の不良の徒が未だ生活と寒氣の壓迫に耐へ得る餘裕を示したものがある或は又他に何等か因由するところあるか、兎に角本月に於ける大小盜難件數は例年の十二月に反比例を示して居るとは事實である

毎週ポンチ「裝飾窓」助太郎

灯とし口

京城商議副會頭の釘本藤次郎氏店員使傭人を優遇するとに於て聞ねて居るが一面なか〳〵嚴格な店主振りを見せる▲何でも同店員の外出門限は午後十一時迄であつて門限時間に遲れようものなら當番店員の日誌に記され店主釘本氏の檢閲を受けなくてはならぬ▲ところが或日の當番店員の日誌に主人釘本氏が門限十一時後に歸宅し再び外出したことが記してあつた之を檢閲した時の氏の顏面表情は頗る複雜だつたさうだ

▲新年もクリスマスも目前に迫つてゐるので何處の商店でも裝飾窓に全力をそゝいで飾りたてた凸坊の伯父さんとこでも店員總出で新案はないものかと相談をして居る其時ヒヨツコリ奇智に富むで居る凸坊が遊びに來たので伯父さん初め大悅び早速凸坊に相談すると▲凸坊先生臺所に行き擂鉢に水を滿たし屋外に持出しておいた三寒時の冷たい夜風は忽ち擂鉢の中に擂鉢の水を凍らした▲凸坊例の得意な態度で擂鉢の形をした氷を店へ持つて來た▲店員を指揮して凸君例の氷を倒にむかして目を伏せ電燈の光に照らす立派な裝飾窓が出來たので盛な賞賛を博した▲西洋日の吸かい事を忘れた凸坊は今朝は餘り寒くないので早起して頻りに洗うさするさ思ひ出したのが昨夜の裝飾窓一件是ぱ失敗と伯父さんところへ駈けつけると陳列窓げ所けた外で何もかも目茶苦茶伯父さんはにがい顏で立つてゐた

雪見酒

▲紅家の鈴子は何處のお座敷でも決つて『忠信の妹だらう』と云はれる成程然う云へば一寸色の小黒いところや顏から口元へかけての面影が忠信に似て居るやうだ然し本人は『忠信の妹』と云はれるのが餘程癪だと見えてお座敷から歸るとプリ〳〵怒り散らし『是れからは戸籍謄本を持つて行くわ』何故戸籍謄本を持つて行くのだと訊くと『だつて忠信は一人子一人の人間だから見れば妹か妹でないか判るから』▲三蔡番の線香代値上げは目下其筋で詮議中であるが多分本年中には許可になるだらうと觀測して居る、だから忘年會なぞは今の中に遣つて仕舞ふ方が得ださうな

◎殉職校長の追悼祭

平壤神理敎支院にては十五日午後二時より殉職小學校長鈴木志津衛氏の追悼祭を擧行せるが列席者多數なり（平壤）

◇……警察の窓から……◇

▲温突と火事 十二日夜ト火が二軒ほどあつた。原因は温突の焚口から傍の燃料に燃移つたのである焚口の傍には燃料は一切置かぬ事

▲預入引出 年末に際し銀行や郵便局所に金錢の預入れ又は引出しに往く人が殺到した此混雜に紛れ込んで掏摸や掻拂ひが入込む。現に三日前にも某銀行で預入れの爲め窓口に置いた金を攫はれた

◎朝鮮水産業者

大正六年末に於ける水産業者[illegible]に比較するときは内地人戸數四分六厘、人口四分五厘、朝鮮人戸數三[illegible]減せり而して其の間の趨勢を通觀するに大正元、二、三年に於ては漸[illegible]十八人を増し大正元年に於て多少の減を見たる外漸次増加の傾向に[illegible]こし又内地各府縣は渡航補助を與へ或は漁舍を造り以移住に便せし[illegible]其の數を減じたりこに因る又大正四、五、六年の増加は常は朝鮮に通[illegible]

◎連絡船上陸客

十四日午前入港新羅丸一二等客[illegible]
▲十四日午後入港對馬丸一二等客[illegible]

天氣 後晴

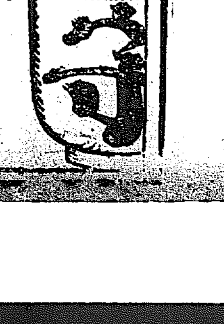
十二月十六日（十五日午後六時迄）

演藝案内

有樂館 電話（本局）
黄金館 電話（本局）二六三七
大秘密 第十三篇 第十四篇
觀音靈驗記
浪花館 京城明治町 電話二六〇
文樂座 本町五丁目 電話一三八
大正館 電話八七三

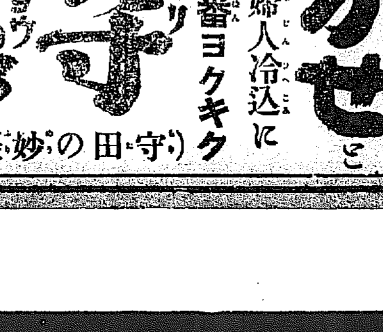
歳暮御進物用精撰糖賣出し
御砂糖
京城本町 澁谷商店 電話七一七番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版
京日寫眞製版部



恐るべき 惡性感冒 流行の此際！
▼ゾッと寒けを感じた時
▼急に烈しく發熱する時
▼氣分惡しく頭痛する時
▼嚔の出た時、咳の出た時
▼婦人の冷込より諸病の時
何となく風邪の心地する時は餘病に變ぜぬうち急いで守妙を服むのが一番安全確實です

かぜと 婦人冷込に 一番ヨクキク
守妙 (守田の妙振出し)



◎守妙の大特長
洋藥で出來た他の丸藥散藥は兎角中毒を起し易いのですが純和漢藥升餘劑の配伍に成る振出し藥の守妙は此等の危險が絶對に無いのみか服めば服むほど體内を温め胃腸を强壯にし便通を程よくする等他に見られぬ各種の有効作用があります。
（全國各藥店ニ有リ）
定價 一日分金拾錢 三日分金廿五錢 七日分五十五錢 十三日分金壹圓 四週間分金貳圓
實丹本舗 東京市下谷區池之端仲町 守田治兵衛

◎桃太郎の噺の解剖(一)
支那に淵源せるものに非ざるか
中樞院囑託 文學士 荻山秀雄氏談

誰が作つた噺か

我國民の間に代表的昔噺として人口に膾炙せる『桃太郎』は、文化文政の頃江戸で名高つた落語師乾坤坊良齋の作つたものだと傳へられて居る。併し良齋よりも稍先輩である瀧澤馬琴、喜多村信節の二人が桃太郎のことを書いて居るばかりでなく、元祿寶永版の繪草紙にもあるから、此話は安土桃山時代か或は德川時代の極初期に作られたものらしく思はれるけれども判然としたことは知ることが出來ない

俗說にて良齋が

桃太郎の昔噺を作つたとするのは誤りではあるが、又一應の道理があるのである。寬政年間大阪の滑稽本萬作が江戸に上り、始めて滑稽落語の寄席を開いて都人士の趣好に叫ひ、大向ふの喝采を博してから落語師が續々輩出した。良齋もその師三笑亭可樂を助けて萬作に對抗する爲め非常の苦心をした。當時の落語は至つて幼稚なもので簡單なる昔噺或は『おとしばなし』の類を輕妙に喋つたに過ぎない、從つて桃太郎の如きは話題として最も人氣のあつた一つである。斯かることから桃太郎の昔噺は良齋が作つたもの、やうに

誤りて傳へられ

たのではあるまいか。それはさまれこの話の內容を仔細に吟味すると時は子供だましの出鱈目な一夜づくりに非ずして我國古來の傳說と風習とが基礎となつて居る。更に其の根本思想は遠く

支那に淵源して

居るもの、やうに思はれる。茲に自分は話の成立の歷史…歷史といふよりも話の構成分子たる、第一桃太郎が桃より生れたること、第二桃太郎が鬼ケ島の鬼を退治たること、第三桃太郎の部將として戰功のあつた猿、犬、雉の三項に分けてこれ等思想の原因する所を究めむとするのである

鬼の解釋に就て

本題に入る前に鬼といふ解釋が必要である。吾々が鬼と云へば、普通に裸ら頭で頭に二本の角があり手足の指は三本宛で全身に毛を生やし虎の皮の褌を締込み鐵の棒を腋へ挾んで居る、一種の怪物を想像するが、かゝる思想は

足利時代の中葉

から起つたもので時代と國とを異にするに從つて其の解釋も一樣でない、其を一々を述ぶれば煩瑣に耳るからこの一小篇では鬼とは魂魄、疫瘧、亂神、惡魔、惡徒等有形無形とを問はず陰とか惡とかいふ方面の

殆んど總べての

ものを包含したるものとして說くこととする。さてこれより第一の桃太郎が桃から生れたことを說くべきであるが、說明の都合上第二を先にする。この頃は桃の精氣を採つて生れた力强い桃太郎が、惡魔である鬼を征服したことである約言すれば桃が鬼に勝つたことであるこの

思想は中々古く

其の萌芽を既に支那上古に發して居るが、これは主として桃の瘴癘に效能があるてふ實際問題から起つたものであらう。本草學の教ゆる所では、桃は身體の邪氣を拂ひ命を延べ熱を去り顏色をよくし、萬病に特効があると見ねて居る、

思想と結合錯雜

これが色々の思想と結合錯雜して具體化さるゝに至つた。追儺即ち驅鬼の起原は早く三代以前にあつて顓頊氏の第三子が疫鬼となり、室隅に留まりたるものを桃弓葦矢もて逐ひ出したに始まると傳へられて居る。左傳昭公四年條には桃弧棘矢を以て災を除くとあり、禮記には君臨臣喪、以巫祝桃茢執戈と記してある。戰國時代に出來た

お化の本として

有名なる山海經に海中の鬱壘山上に桃木あり、桃下の二神能く百鬼を啖ふの語がある、少し趣きの變つた話では漢の永平年間に劉阮なるものが天臺山で路に迷ひ、桃を喰つて餓を凌ぎながら漸く鄉里に歸れば、故舊の生き殘れるものは一人もなく

七世の孫に迎へ

られ初めて自分の長壽を知つたといふ物語りがある。其他列仙傳中の葛由綏山二人の如きも桃の精を吞んで仙術を體得したものである陶淵明の名高い『武陵桃源記』は桃源の二字に假託して劉阮の故事から脫化したと說く人さへある位である。

支那の稗史小說

によく書かれる『斬妖劍』はその名の如く惡魔惡徒を退治する劍であるが、刀身は鐵でなくて桃の木である。斯く桃は排邪招福に大功があるから、支那人は

除夜に桃符こて

桃色に因んだ赤色の紙を長方形に截り、佳句を書いて門先に貼付け芽出度い新春を迎へる習慣である

◈朝鮮製の燐寸
仁川朝鮮燐寸工場を觀る
仁川支局 一記者

(續)導かれて工場內に入り參觀の第一步は先づ軸木の分選場から初まる燐寸原料の軸木は同社新義州支店から來るのであるがそれを其儘直ちに使用する事は出來ない即ち萬石式の篩にかけて軸木の大小を取り分ける此陶汰機械は一人の朝鮮人によつて廻轉さるるが轟々の音も殆んど耳を聾せん許りで案內者の說明なども ◆容易 に聽き取れさうにもない此の分選機に掛けられて及第した軸木は直ちに女工の手に移つて箱の中に揃へらるるそして揃へた軸木は今度は配列機の方へ廻さるると云ふ順序である仁川の燐寸工場では今の處獨逸式軸木配列機が十二臺備へてある一見頗る簡單なるが如くして其實他に類を見ざる巧妙精密の機械であるだけ職工がハンドル一本を動かして機械を回轉する每に方二尺の配列機に美しく軸木の並ぶ光景には參觀者は思はず ◆驚異 の眸を禁じ得ない處である斯くて出來上がつた配列機は豫め用意せられた運搬棚に載せらるゝそして其數三十組に達して滿載となると待ち構へた運搬童は運搬棚を押して次の順位に運んで行く棚には四輪の車が著いて恰も病院の食事運搬に髣髴たる光景が展開さるゝそれが十二組右往左往の狀態は流石に眩しい工場氣分に充ちて居るのである ◆軸木 は愈々黄燐を著けらる、前に今一つの關所がある、それは燐寸の使用に際して火移りを好くする爲に軸木は蠟引にされる事である鮮童が押して來た運搬棚は即ち茲に來て取卸された配列軸は先づ火炙りに處せらる美しく並んだ軸枠が鐵板の上を辷るかと思ふともう其尖端は焙けて今度はすぐに煮沸された蠟油の中に漬けらるゝ其動作の鮮かな事寸分の隙もないほど鮮童の腕は冴ねて居るそれか濟むと愈々 ◆黄燐 の上に叩き付けられて完全な燐寸となり再び配列棚に上げられて乾燥室に閉ぢ込めらるゝのである由來燐寸工場は火の元を製造するだけ頗る危險が伴なつて居る乾燥室の如き之が爲め細心の注意を拂つたものであるが時として不可抗力の發火を見る事が多い記者が參觀の時工場內を巡覽して居ると宗外に當つて不意にブリーの叫び聲が聞こゆる振り返ると工場の入口には既に多くの社員が驅け著けて非常用の ◆ホース を延ず早くも消火栓に手を掛けようとして居る火事だと驚いて飛び出して見ると乾燥室の小窓からは爆發に見る硝煙が大發に吹き出して居る今や消火栓に手は掛けられホースの尖端は放水の用意整つて筒口は向けられた此時一聲室內からは大丈夫と三强く響いて來た見れば火燄に包まれた一臺の運搬棚は室內から押し出されて工場の ◆眞中 に來るかと見ると四人の人夫は力任せに床上に押し倒す其上を足の先で蹴散らして火は難なく消ねて了つた此の騷動に工場は總立ちとなるかと思つたら何ぞ計らん四面に各自の作業に從事して居る職工は後の騷動に一瞥も與へず事業の其手を休めもしない翻つて社長に聞けば斯樣な事は屢々でもう馴れた者だと成程落着のある處には怪我は無いものだと感心された

◎朝鮮に於ける 簡易工業
(四) 其他の製造工業
工學士 楢爪郁氏談

其他釀造業の有望なるは世人の知悉せる所で朝鮮で消費せらるゝ ◆清酒 は六萬石を越ねて居る而し朝鮮で釀造せらるゝものは三萬石に過ぎない朝鮮藥酒の改良果實酒燒酎の釀造及び葡萄酒の釀造等も本所で試驗し或は試驗中であるが十分改良の餘地もあり又有望なものと信じて居る又倣後表に代る可き ◆莞草 朝鮮牛の牛骨利用としてのボイル油、石鹼、肥料の製造、製漆業、ポプラ樹の利用等何れも大いに將來發達すべき素質を以て居る中にも ◆ポプラ の如きは何等の使用の途なく只生長の早きを以て植樹せるに過ぎざる觀ありしが本所に於ては目下各種の什器に利用して十分效果あるを認めつゝある又製漆業は朝鮮特產螺鈿細工と相俟つて大いに發達の見込あるので現に朝鮮產の漆を試驗して內地產に劣らぬことも發見したのである

小資本にて充分

以上の中硝子業の外は何れも小資本を以て十分企業し得可く朝鮮の製造工業に從事せんとする者の比較的容易に著手するを得るの

である予は朝鮮に在る實業家諸氏の徒らに座して利殖の道を求むるに甘んぜず如斯有望確實なる製造業に投資し自ら其の事に當らんことを切望するものである(完)

◎平南生產品と 慶北共進會出品
(五) 平壤商業會議所書記 間城益次

特用作物……棉

總出品點數陸地棉四百三十七點在來棉五十五點計四百九十二點にして棉作組合の特設に係る棉花館に陳列す、即ち同道に於ける棉花を多數出品せる外朝鮮及び內地に於ける棉花標品を網羅し棉作中極めて有望なる棉花栽培に關する智識の普及に努めたり然して右表に示す如く平南の在來棉に比し約二倍同陸地棉に比し一割三分餘の增收を示せるに徵し如何に西鮮棉の成績優秀なるかを知る可しされば平南に於ても昨年來繰綿工場の新設を見るに至り當局の指導獎勵と相俟ち平南棉業の前途は頗る多望を以て目せられつゝあり昨年來道せる伊藤農產課長(農商務省)の言に依るも平南の在來棉は極力之を獎勵せば現時の三四倍の產額を擧ぐるの難きに非ずと稱せられ年に豐凶ありと雖も平南のみにて一千萬斤以上の產出を見る時期は遠きに非ざる可く之に伴なふて黃海平北兩道の產棉亦增進す可きを以て西鮮三道のみの產棉をして二千萬斤以上に達せしむるは至難に非ず然して昨年度に於ける慶北の棉產額は在來、陸棉を合せて尙ほ平南の下位にあり而も既に大正五年大邱に鈴木繰綿工場の創設を見たるが同工場に於ける昨年の原棉消費高は四百五十萬斤にして慶北の全產額を超ゆ、斯の如く繰綿事業の振興は、棉花の產額增進を促し道當局に於ても之が指導獎勵に熱中せり推ふに棉花の自給問題は國家經濟上喫緊の案件なるも內地棉花の增收は殆んど絕望にして我が領土に於ては僅に朝鮮に於てのみ增收を期し得るが之こそ紡績會社所要原料として供給す可き大數量のものは遽に自給の望み無く今後幾分朝鮮產棉を以て補ふ外大部分は原棉の移入に俟つの外無し然らば將來朝鮮に於ける紡績事業地は近く實現のモンド瓦斯發電に依り工業地たるの素質を完全に具有するに至る可き我平壤を措いて他に求む可からざる可く朝鮮紡織會社が今に工場の建設を見るに至らざるは原棉の關係機械の不著等に依らんも京城以南に於て好適地を得る能はざるが故にして原棉の大部分を外棉に仰ぐ以上は動力の低廉にして勞力の豐富、用水の潤澤なる地を選ぶ可きは論を俟たざるなり今棉花の產額に於て慶北と平南を比較すれば左の如し(作付は町產額は斤を單位とす)

種別	作付	產額	反當
慶北在來	二四〇二	九六三〇〇〇	四〇
慶北陸棉	四四〇七	三三四四〇〇〇	七六
慶北合計	六八〇九	四三〇七〇〇〇	六三
平南在來	七三〇二	四九九〇〇〇〇	六八

◎特產物取引
仲裁判定規程

大連特產物取引界にては取引上屢々紛爭を生ずるを以て取引組合規約として取引紛擾に關する仲裁判定規程を大體左の如く定むる事となり近く協議會を開き決定の筈なるが多少字句の修正等あるべきも殆ど決定的のものなり

(一)組合員間に於て取引所に於て爲したる賣買取引に關し生じたる爭議は凡て取引所規則第三十一條に依り取引所長の仲裁判定に由り解決するものとし爭議の當事者は該仲裁判定を請求する義務あるものとす

(二)組合員と大連取引所信託株式會社又は組合員と其の委託者間に於て取引所に於ける賣買取引に關連して生じたる爭議に就ても仲裁判定の請求を爲す事を得前項の爭議に關し大連取引所信託株式會社若くは委託者より仲裁判定の請求を爲したる場合は組合員は之に應ずる義務あるものとす

(三)仲裁判定を求めんとする者は當事者双方連署を以て取引所長に請求するものとす但し仲裁判定を請求するの義務ある者其の連署を肯んぜざる場合は其事由を附して連署を省略する事を得るものとす仲裁判定を請求するの義務ある者は其請求書に連署せざる場合と雖もこれが請求に同意したるものと看做す

(一)仲裁判定は民事訴訟法の仲裁判斷に非ざるを以て其の手續に關し同法の規定に據らず仲裁判定を爲す者に於て隨意に之れを定め得るものとす

(二)組合員は如何なる事情あるも仲裁判定に承服すべきものとす組合員にして仲裁判定に承服せざる者は組合規約違反者として其免許取消しを取引所に申請し且つ組合を除名する事有るべし委託者にして仲裁判定に承服せざる者は爾後何人の名義を以てするも組合員は其者の委託を拒絕すべし(大連)

◎炭の騰貴は 無煙炭を以て 緩和し得べし

現時燃料問題に就て漸く世上の喧しく至る處現品不足と價格暴騰なるが爲め一般民の苦痛は嚴寒期に向へる今日彼の米價奔騰以上なるに平壤附近に於ては一帶に埋沒せる無盡藏と稱する無煙炭は既に久原鑛業所經營の長水院無煙炭製造販賣の擧ありて一般に供給され木炭調節を行はれつゝありて尠からざる功獻を爲し居れるが此處に亦未だ世間に遍く周知せられざる江西の朝鮮無煙炭礦株式會社は昨年來頗る盛業炭事業に著手其擴張を圖り岐陽驛附近には特種の製法に係る卵形無煙無臭の煉炭製造所を設け此冬季より此が發賣を爲し現時に於ては平南地方に於て一般に好評を博し殊に昨今に至りては京仁地方より南鮮の都邑間に販路を擴張し居れり尤も該煉炭は木炭代用として實用向に適し且經濟上最も有利なるものゝ如しと(平壤)

◎輸送難と金融
◆就中木材業者の困難◆

輸送力の不足に伴なふ輸送難は屢々報ぜるが朝鮮滿鐵線共に同一の歸趨にして一般當業者の蒙る不利益は非常なるものあるべきも特に新義州、安東縣市場の木材業の蒙る不利益は莫大なるものあり今や其の餘波を蒙り金融界は沈靜界を逸出して漸く危險界に入らんとしつゝあり其理由原因種々あるべしと雖も得意先の註文に隨ひ原木輸送或は製材を急ぎつゝあるに拘らず安、新兩地の貨車配給は殆んど絕無と云ふも過言にあらざるを以て原木若しくは製材をして徒らに堆積し置くのみなれば資本は之を固定する一方にして放資して原料代金及び勞銀の回收は絕對に不可能なれば銀行業者も亦貸出を警戒して容易に放貸せず寧に資金の融通に困難を感じつゝある當業者は現在の注文品さへ輸送出來るに於ては何時にても資金の回收を得る見込あり乍ら只運を天に任せて貨車配給の多からん事を希望するのみなれば此歲晚の決算期の苦痛は今より推知するに難からず幸ひにして安、新義州間に於ては百五十車乃至二百車の配給あるに於ては稍其の危險界を逸出し得べきも左なきに於ては四五の當業者は作業を中止するの悲境に陷り延いて一般經濟界を災する事頗る多大なるべし(安東縣)

◎石炭と貨車
◆滿鐵より各驛に充當◆

本年は豫て輸送及び其の他にて今日まで豫定の石炭輸送をなす能はず延いて各地とも石炭缺乏に苦しみつゝあるを見、滿鐵にても愈近々中より機關車四臺、貨車五十輛を專ら石炭輸送用として充當し沿線各地へ配炭なす由なれば斯くにして燃料不足の聲は緩和さるゝに至るべしと(奉天)

◎增俸……滿鐵
◆雇員一躍の增給◆

滿鐵會社にては來年度より雇員初任給日給三圓以上職員初任月給を從來の五圓乃至八圓增額する事となりたるを以て之等の釣合を保つ爲在籍職員及び雇員の給料を全部に亘り引上る計畫中なりと(大連)

◎奉天銀行と重役

奉天銀行創立總會開催の由は既報の如くなるが同會に於て選任されたる重役は左の如し(奉天)

頭取(上田久衞)專務取締役(石田武亥)取締役(佐藤直平、松井小右衛門、馬場鍋一)監査役(增田如吉、向野堅一)

◎氷が融けた

鴨綠江は九日來大雨の結果氷が融けたるが十一日は又々結氷したり斯くの如き自然の結氷は地方の經濟界には餘り好ましからぬ事なりと云ふものあり(安東縣)

◎石油の拂底
◆品薄の聲に驚く奥地◆
買註文殺到す

物價騰貴の此節とは云ひ條市街地の米の暴騰は著に請つた人の心を獨が上に恂々たらしむるが更に最近著しい奔騰を來して昨今眯に品切れだと云つて居るのは石油である仁川の市中にも品の拂底は懷である或る處では市中に差支るほどそんなに拂底はして居ないと云ふが又 ◇需要 する方では市內の小賣店が賣らなくて年末洋燈を點しての夜業に差支る等との聲も聞くが果してそんな事實があるや否やは詳細の調査を遂げねば不明であるが何にしても品薄は事實で而も品源の爲めに値段は日一日に昂騰して一箱僅に十圓から十二圓位に過ぎなかつたものが今では十七圓一鑵八圓五十錢と云ふから一升の價は實に八十五錢とは驚くべしである樣な ◇商狀 にあるから先高を見越して僅の殘品を賣り惜む位の事はあり勝ちで需要家の賣り惜みと云ふ非難は或は事實かとも想像出來る何にしても田舍の商人は此の一般を通じての石油拂底の聲に驚かされて矢鱈に買註文を持つて來る一方石油の在荷は尠く需用は多いと云ふから勢ひ其値は沸騰せざるを得ないつまり石油高の原因は ◇品薄 に主なる理由があるの事實であるが品薄の聲に驚いて奥地の買込みなども一層値段を吊上ぐる原因である然らば石油の元とも云ふべきスタンダード等の本店にも在荷は尠いのであるかと云ふに決してさうでない同會社は朝鮮には釜山元山仁川鎮南浦に倉庫を有して居るが現在では元山の倉庫が品切れで其他には充分の在荷があるらしい從つて ◇元山 には仁川の倉庫から在荷を送して居ると云ふが仁川の在庫品も決して尠い事はない世間が騷ぐ樣に尠い事は決してない最も十一月には仁川の石油輸入は無かつたが十月の輸入數に見れば實に九十一萬六千餘鑵の輸入があつて居るのである現在の拂底に對して品物は何時頃來るかと聞くと其の時日など勿論不明だが何れ近々の內入港する事は請合らしい(仁川)

◎關東都督府 警察官制改正

關東都督府警察署にては從來警官の階級を警視、警部、警部補、巡査の如くして內地及び臺灣朝鮮等の如く巡査部長の一階級を設けざりしが大正八年度に於て警官增員及び制度改良と共に巡査部長の一階級をも設くる事に內定せりと(大連)

◎小川旅館の發展

京城明治町小川旅館は開業以來十年間堅實と可嘆とを以て信用を得つゝありしが結果日に增し繁榮を見客室の如き狹隘の爲め過般新築中の處愈落成客室寢具食器に至るまで改良を加へ益々業務の發展を期する由

……七戸七十九人にして之れを同時期……人にして大正六年末に於て戸數七……正六年末に於て戸數一萬九千四百……二年(明治四十一年)漁業法發布せ……十五年四月より實施)により取締……に於ける朝鮮現住總戸口內鮮人別……十七戸人口八百七十九人の增加を示……人口十一萬三千九百八……らる結果也と思惟せらる……漁業者は競ふて漁業權を得ん……[illegible]

十五日より三十一日迄
特價大賣出し
▼先安を見越冬物手持品
全部破格大安賣
シミ附 ハモノ
大見切品澤山
▼御贈答用として格好なる品澤山取揃へ居り候
御買上金壹圓毎に景品券進呈
但し赤札附見切品は景品券なし
京城本町一丁目
メリヤス 綿布製品 洋品雜貨商
(イ) 鈴木支店
電話一八七二番

奥床しき贈り物……
實用向の贈り物……
お手頃な贈り物……は
三中井吳服店階上の
御進物陳列會にて
御自由に御撰擇被下度候

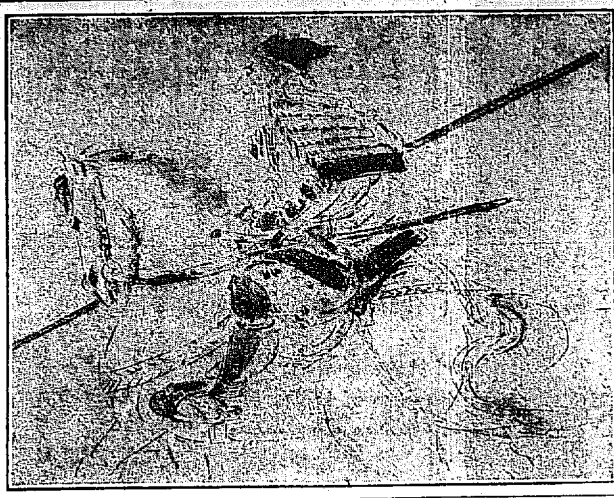
商品券
弊店の商品券は
釜山、大邱、元山、晉州の
各支店共通にて御進物用と
して最も御便利に御座候
京城 三中井吳服店
電話三十七番

▽冬物陶器品揃△
御買上金一圓每ニ景品券進呈
京城本町一丁目
陶磁器類
建築用品
(肥) 陶榮商店
電話長三二番
振替京城三三二番

毛谷村六助　卅六番角力

九十席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

八重姫は髪をおどろに振り亂し、兩眼に血を注いで『八ッ寄るな三左衞門、自分の申する事を聞き取り立歸りて兄親に申し傳へよ、妾を人質同樣に當國に嫁がせながら、如何なればかゝる事をいたしたるか、尋常の勝負、鉾を爭ひ首を取るは戰場の慣らひ、然るに妾を囮に爲し、友千代丸と申する子まで爲したる間柄、安心させて安藝守殿を名島の城へ招き、承れば今日大勢にて討取つたるの由、然みこそあれ黑田の家は切れる、八重姫中譯の爲に此處に磔刑に相成る、我が一念は永く黑田の家に祟りを爲す立歸つて父兄に此の事を申せ、兵庫早突けッ』傳法寺兵庫心得て、皆朱二間柄の槍を扱いて八重姫の乳の下の邊へ突込む、流れる血潮は顔に注ぎ、丈と延びたる黑髪を傳へて流れる樣子、血走る兩眼愈よ物狂はしく『八ッかゝる姿を見たるからは早々立歸つて此由を親兄へ告げよ、ウ、ーン』と苦しむ樣子、兵庫に於ても素より約束の上とは云ひながら悼はしく思へども、今更止る譯にもなりません、遂に止めの鎗を刺しましたから落命いたしました、此の樣子を見たる黑田三左衞門『假令へ死骸なりとも名島の城へ持歸らねば相成らん、ソレ用意いたせ』心得たりと黑田の家來忽ちの間にそれぞれ支度を遂げ、見る／＼間に只萬河原に血を流すことになりました、傳法寺兵庫は用意を爲したる馬に打跨り血に染たる鎗を提げ、黑田三左衞門の軍勢に對ひ『兵ヤァく岐非谷安藝守の家來傳法寺兵庫此處に討死いたす、我最期の働きを見て末代の話の種にせよや』と呼ばはりながら鎗を取つて



敵を突くこと以上十三人にして、誤つて鎗の柄を突き折りましたる樣子、そこで陣刀を引拔き東西に當り、多くの敵を斬伏ましたが、素より多勢に無勢今は身體勞れ果てゝ遂に亂軍の中に何れから射出したるか一發の彈丸、傳法寺の眉間に當りました、是が爲兵庫は遂に落馬をいたした、黑田勢押し掛つて傳法寺兵庫の首を擧げました、是に續いて岐非谷の家來は悉く此處に討死をいたしました、黑田勢此の虚に乘じて岐非谷の城へ立入り、白地に黑く藤巴の紋を現はしたる旗、金の三方見込、藤巴貫纏紗馬連の馬印を岐非谷城內物見櫓へ上げたるは勇ましき有樣、併しはしくも八重姫の死骸は持つて行く譯になりませんから、茲で火薬を注ぎ遂に燒いてしまひました、黑田勢は其儘一時名島の城へ引取りました、亂世とは云ひながら昨日は婿舅、今日は敵の黑田勘兵衞岐非谷の城へ乘込んでこう／＼安藝守の領地は黑田親子が受取りました、偖彼の友千代丸は傳法寺六郎が脊負ひ叡山へ罷越し、桂觀阿闍梨に就て委細の儀を頼みました阿闍梨も快ろよく承知をいたし、未だ東西も知らざる友千代丸を叡山で育てることになりました、其の後傳法寺六郎は友千代丸七歳に相成るまで附いて居りましたが、病の爲に斃れ遂に亡き人の數に入りました、友千代丸は名を寛了さ命けて後大和法隆寺の大僧正紅葉上人となるのでございますが前回申し上げました通りそれは黑田騒動に詳しく出て居りますから略します、此の岐非谷の家が德川家に殘りました、といふのは安藝守友房が八重姫を娶る前に侍女を愛して此の者の後より生れた男子がありましたが内記と云つて、八重姫を迎へるに就て宿へ下げ置きました、處岐非谷が落城して家臣の德村宇右衞門といふ者が此の內記を伴れて、筑後柳川の立花家を便つて家再興を頼みまするこ、左近將監が引受けて德川家へ願ひまして三千石に御執立となり岐非谷內記と云つて旗本に家を殘しました、それは後の事、此度岐非谷城を手入れましたのは偏に後藤又兵衞の骨折に依る處でございます、

四方八方記

奉天にて　老禿生

▲歳末が近附いたので奉天も何うやら騒々しくなつて來た、殊に近來日支間に於て色々の事件が發生するのは何より忌まはしい事の限りである早く改善の方法を講じて置かないと色々の事件從々の形となつて現はれて解決に苦しまねばならぬ樣になるかも知れない、當局の奮勵を望むや切

▲殊に支那の歳末期にもならば噴激しからうと思ふ、是れを最近の事件から見ても隣に於ける露國事件を第一番にそれから鮮銀支店を去る十數間の箇所に於ける五萬圓事件其れから城裡の今井(?)非の一大慘事次ぎは今回の格鬪事件殆ど次から次へと息もつかせない有樣ではないか

▲此れ丈けの事件が唯奉天市內で丈け行はれたもので遠く地方のは解らないが地方には地方で強盜もあり殺人もあり又は日支間の紛議山事件等で隨分氣を揉んでる者が決して尠くない樣に見ねる、勿論十月初旬から張督軍が不在の爲に各種交渉案件も遲延したるは相違ないがハヤ歸任して來たからそんな事もあるまい、が

◆要するに善を善とし惡を惡として黑白邪正を明かにするに於ては決して遠慮も何もあつたものではあるまい內地では一昧吾が大英國を振り廻はす者もあつた相だがまさか滿洲位では我東三省はなどこう濟ましてるものもあるまいなまじ棄もせぬからシッカリ賴んますよと誰やらの話を其まゝに

十二月十七日

舊十一月十五日▲戊戌▲八白▲暗劍うしとら(東北)▲ひらく▲室▲

▲八白▼ 此の日は餘り物の相談ごとに觸らぬがよし北は吉にて東北の方は凶

▲九紫▼ 華やなる日にて終日愉快に暮らせる日なり故に何ごとを行ふも宜し

▲一白▼ 此の日は可もなく不可もなき日

▲二黒▼ ちよつと迷惑なすることあり

▲三碧▼ 厄介な日にて翌日に廻すべし

▲四綠▼ 氣のくさ／＼する日翌日は吉

▲五黃▼ 此日は引立て損のある日なり

▲六白▼ 目上の引立てを受くるか但しは爭ひの來る日なり何ごとを行ふも

▲七赤▼ 心に邪氣なければ我この思ひのまゝに行くべき日なり何ごとにも

汽車

京釜線（南行）　同（北行）　關釜連絡　釜山著　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　京元線（北行）　同（南行）　湖南線

かぜつねつに

おもしろいほど面白い程きく

荒川のカギヤピリン

丸薬と散薬とあり◇小児には又専用の小児用カギヤピリンあり◇にせもの注意

彼是と手遅せぬ様直服用あれ

現今の流行かぜには頗る妙

■薬價 ●十錢●廿錢●卅錢●五十錢●壹圓

本舗 京町 名古屋 藥品問屋 荒川長太郎

■全國到る處の藥店に販賣す■御申越あれば無償郵送す

小鳥捕用 カスミ網

高さ六尺三間 三尺三棚 横巾一圓半
高さ六尺三尺三棚 横巾五間四圓

極上絹糸製 ◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり

京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京城一三六番

効果に驚く……

美乳！

晴た日の美しい化粧品！

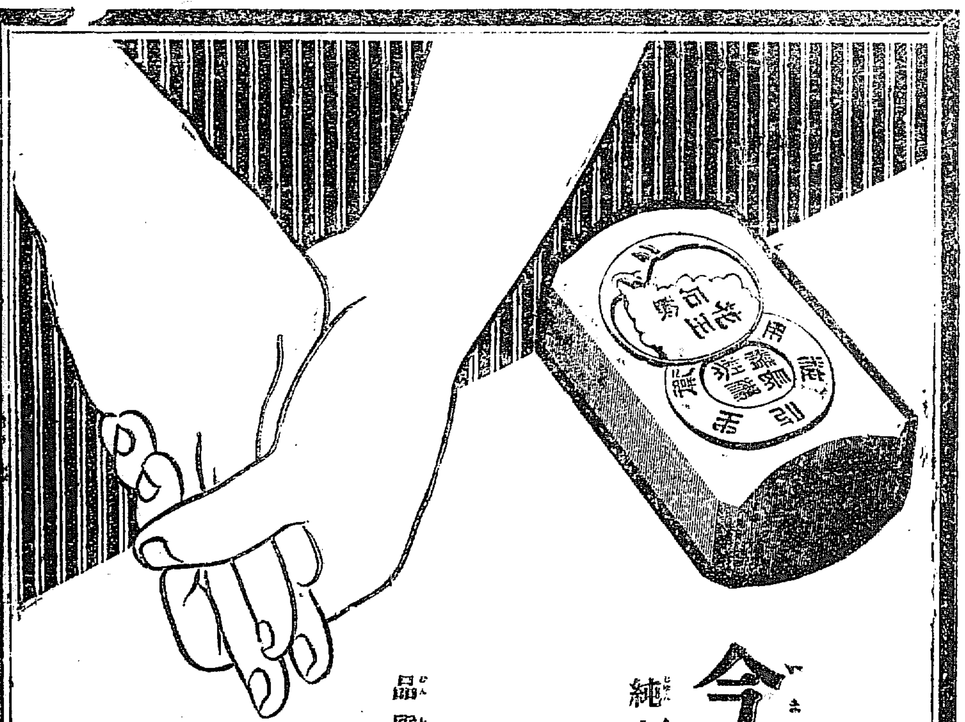
秋から冬へかけて、嬉しいものは勝れた日の散歩、それに反してイヤなものは膚を荒すあの空ッ風——併し評判の日本に初めて出來た美乳を常用してゐらつしやる方は散歩の前の一滴に生地から色を白く美しくし、空ッ風に逢つても、一滴の力克く皮膚を天鵞絨の如く柔かくする不思議の効果に驚くのであります。それもその筈、美乳は有觸れた化粧液の類と根本成分を異にし、皮膚の内面組織を完全に白化し、美化する獨特の作用を有つてゐるからであります。表面ばかりでなく生地から色の白くなりたくて種々の化粧品を試みて失望したお方、年中肌荒れを忘れたいお方は今直ぐに近代科學の粹たる美乳を試して御覧遊ばせ、今直ぐに。

僅か一瓶で美人となる

試驗はタッター週間！

美乳 定價 一瓶 廿五錢 純白美乳 三十錢

本舗 大學目藥本店 矢野芳香園



今此の時！

純良の石鹸を忘れ給ふな

皮膚の美は寒冷に向ふ時節に於て最も傷み易きものなれば、日常の石鹸には博く化學的純良の石鹸と知らるゝ

品質本位

花王石鹸の

用意を懈り給ふな

花王石鹸製造元 長瀬商會 東京馬喰町

鶴香水 日本輸入元 花王石鹸關西代理店 大崎組商會 大阪安土町

日立モートル 淺沼商店

東京市京橋區木挽町五ノ三 電話新橋一 登録受信略名東京ア

朝鮮總督府編纂

朝鮮大地圖

▲八十萬分ノ一縮圖 ▲縱四尺五寸横二尺五寸 ▲折圖定價二圓 ▲軸製定價三圓五十錢 ▲折圖送料十二錢 ▲軸製送料要實費

京城日報代理部

まァ召上れ！

美味しい滋養豐富のお料理は此一瓶から生れて來ます

あらゆるタベモノのアヂをよくする

味の素

■味噌汁吸物に天下一品
■煮物にも同樣おいしく
■醤油には香味が引立ち
■茶に混れば番茶が玉露
■酢の味付は他に類無し

第五
京城日報
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

京城日報

南北議和

一

支那の南北紛爭も、帝國を首こする五國の勸告に因り、若しくは世界の潮流に牽引せらる、所あり、漸く講和の[illegible]定め[illegible]方の大議歩に出でたるものにして、以て徐總統の平和に對する眷々たる赤心を觀るに足るべし。且つ代表員こして選定せられたる顔觸を見るも、段馮梁等の油垢のつきたる長老が、潜みて背後に隠れ、從來黨爭に關係薄き少壯有爲の士を充てたるは、南北の和融上、一層好都合なるべしこ想はる。其内總代表こ指目せらる、朱啓鈐氏は、徐總統の股肱にして、民國元年の熊内閣に入りて、内務總長たりし經歴を有するを以て、貫目に於ても亦十分なりこ考察せらる。

二

南方の代表者に至りては、支那に於て傳へらる、ものこ、日本に還せる報道こは全く異にして、支那新聞紙に依れば伍廷芳、章士釗[illegible]に南京に派出せりこいへば、暫く此を事實こせば、其の總代表の任伍廷芳氏たるはいふまでもなく、伍氏の聲望閲歷、並に時局に對する素質なる思想は、此の任に膺るに遺憾なしこいふべし。若夫日本に傳へらる、報道にして却つて眞を得、南方唯一の人物たる唐紹儀氏が總代表の任を帶ぶこせば、更に適任たるはいふまでもなく、而して伍氏の代りに其子伍朝樞が出馬するこ、なるべく、之に加ふるに章士釗張耀曾諸人の穩健なる議論を抱持するの人を以てす、先づ以て其の人選を得たりこいはざるべからず。

三

此の南北双方の委員が、如何なる條件を携へて講和の會議に入るべきか、是れ世上の最も注目する所なるが、聞く所に依れば双方こも一切條件を齎さず、所謂白紙主義を以て議場に列し、支那全體の利害得喪を考察し、熟議の上に主眼點を定め、而して後に諸種の細目に入る筈なりこいへり。此事は割引なしに眞面目に受け取るべきや否やは問題なりこ雖も、兎に角双方の間にか、る交渉が行はれたりこせば、今日まで協和の大障碍物たりし南方の護法論も、又北方の面目論の如き、一切の行掛り上の論爭を抛擲し、虚心坦懐を以て局に處せんこするの諒解ありこ見るべく、南北紛爭の可解の餘地に達せるを悦ばざるを得ず。

四

然りこ雖も支那の事は、由來常識を以て推すべからざるもの多し。今日に在りても所謂何人感情を去り、法規の末節に拘泥せず、平和を障害する一切の行動を斥け、隔意なき妥協を以て、國内の平和統一を期すべしこ聲言するも、一旦和平會議に臨み、又もや例の偏執主義を發揮し、妥協の分裂を來すが如きあらば、支那は到底第二の巴爾幹たるを免れ得ざるべく、今日五國の友誼勸告が、他日一變して干渉强制たるに至るなきを保せず。此の如きは勿論支那の爲めに悲むべく又我邦こしても面白からざる影響を受くるに相違なければ、此際有力なる監視を爲すの要あること、吾人の冗語に俟たざる所なるべし。

獨逸將來觀測(二)

賀田直治

前途の外債金問題に關しては如何に落著くべきか、全く未定なるも、若干償金を課するの意向あることは疑ひを容れず、加之獨逸の

▽經濟的回復を防止するあらゆる條件をも賦課するものこ見ざるべからず。此間講和談判は、列國共に、外交上の手腕を盡し、幾多の波瀾、曲折を見るべきも、大勢には抗すべくもあらず

先づ都合よく行きて、獨逸の屈服に依りて、獨逸は僅に敵對國の怒を融和し、復仇心を緩和し、世界の仲間入りを爲すの資格を、恢復するに至るべきのみ。所くて獨逸の軍國主義は去勢せられ國内は無理なる戰爭の結果こして、社會黨の運動は紛然たるべく、無理に繼續せる財政上の困難は、多年の重荷なるべく且つ前は兎に角『カイゼル』こ云ふ大權威の人に、統一せられたるも、今回は統一者決乏し、且

▽反動的紛亂は 防止する所なきを常こするも、唯獨逸人てふ組織的、團結的の民族たるの信用よりすれば、遠からず鎭靜するを得ん乎、而も講和は、敵も味方も早きを希望すべき筈なれば、獨逸の主權の定まらざるを見る、結果、出來る丈解決を急ぐこ、思惟す。只確定的國家組織は、幾多の波瀾を經て、始めて始まるべきものこ思惟するを以て、相當の時間を要することなり。

以上は國こしての、獨逸の運命を推定したるものなれども、個人こしての獨逸民族は、元來勤儉堅忍なる性格こ

▽學術的に訓練 せる頭腦こ、秩序的組織力こに加ふるに今度の戰爭の結果一層苦心の經驗を得、戰後一層逆境に沈淪する丈に、驚異の實力を作り『ナポレオン』戰敗以後百年間の實例に徵し、今回も軍國的方面の活動は絶望こなるべき代りに、經濟的方面に、必死的奮闘するものこ見るべし、併し茲に問題は、從來の獨逸人の發展力こ雖ち、一方國家的勢威こ援助この下に行はれたる!のならが、今回の失敗に依り、國家は悲慘無勢の狀態に陷する場合尙且人民は、以前の如く活動をなすを得るや、同時に人民は、戰非常なる重税を負擔せざるべからざるに、果して不屈の發展力ありや、況んや獨逸の

▽經濟的發展を 防止する方法は、遺憾なく講和談判に課せらる可き形勢あるに於ておや問題は、要するに講和決定を見るにあらざれは、容易に斷言するを得ざれこも、其間又左の觀測を爲し得ざるにあらず。

一、獨逸民族は此度の失敗に依り軍國こしての望[illegible]絶ゆるに至りたるも、經[illegible]力に於て異常なるもの[illegible]特に鐵、石炭、器械等に[illegible]皮革、加里其他の化學工業等に關し、既に遜なる資力を有し、既に[illegible]にして良好なる工業品を生産するの獨特技術力を有せるを以て戰後數年にて以前に回復するを得ば國際感情は、一時は尙ほ持續するこするも、平時こなれば經濟的利害の觀念こ變じ、此の低廉にして良好特殊なる獨逸品の使用を拒まざるべし

二、アルサスローレンの工業的中心を失ふ打擊は、鮮少ならざるべきも、多年扶植したる勢力は容易に拔くべからず、また折角成功したる露國及びバルカンの勢力範圍を喪失したるも、裏面には尙ほ不測の潜勢力を有すべし、但し休戰條約中の東[illegible]の占領が、講和の際如何に決定すべき乎、他[illegible]又は中立こなるさへ、獨逸經濟界に及ぼす影響は蓋し大なるべし

三、植民地の沒收又は放棄は、獨逸の前途に相違なきも、元來之遲れの爲め、良好なるものを有せず、寧ろ厄介物の姿こもなしべく其丈多く最も有望なる亞米利加特に南亞米利加、露西亞、バルカン、支那等の大方面に、逐次經濟的活動を試むるに至るべし

四、國こしての恢復は、容易ならざるべきも、人民自主の運動は著しき丈に激甚なるべし

列強對支那經濟發展(二)

列强の角逐

西隣に破れて目的の一端だに遂ぐる能はざりし露國は轉じて東隣に志しを伸べんこし所謂鐵道利權を獲得し此利器を振り翳して[illegible]の勢力を壓迫し脅威せんこせり往年露國が漢口に於て製造する[illegible]を輸送するの口實を以て彼の義勇艦隊を溯江せしめたるが如き要するに航運より英の勢力を壓迫せんこの目的に出づ然れごも英國は和太吉の兩汽船會社をして既に揚子江の交通權を固めしめたるに對抗すべくもあらず其容易に目的を達する能はざるを知るや露國は鐵道敷設に由る外なきを自覺し俄然此方面に全力を傾倒するに至れり

▲裏面に奮闘 したる露國の努力は空しからず遂に白耳義を利用して京漢鐵道を敷設せしめ又滿洲及び關内外鐵道を占領し或は北京張家口府間の鐵道敷設權を獲得して逐次滲透を行ひ一躍長江を衝かんこの古の方面より[illegible]

[illegible]目的は實に長江流域に在り長江流域を占據するにあらずんば遂に支那を制する能はざるは露國の夙に了悉したる所なれば[illegible]露の遠大なる計畫を知りたる英國が倉皇こして滬寧鐵道を敷設したるは此防[illegible]たらしむるの企圖に出づ而して露國の滿洲占領は日露戰爭に依て碎せられ露國東方經營の大計は後長へに終末を告ぐるに至れり

▲交北清事變 に際して遂行せられたる關内外鐵道の占領も之を實行するの機會なくして止みたり然り例の京漢鐵道の如きも支那の利益の爲に單に沿線の開發を促進するに過ぎずして露國の期待に反すること大なりし結果茲に海蘭鐵一千一百哩の大鐵道敷設の計畫こなりて現れ來りぬ此計畫は支那の中腹を貫き長江の咽喉を扼せんこするものなるが故に左なきだに敏感の觸こなれる英國は一層危懼不安の念を深くし之が對抗上浦信鐵道の敷設權を獲得せり浦信鐵は南京の對岸浦口に起り河南の信陽に到る者なり英露の角逐實に此の如し如何に英國が自己の勢力範圍を擁護するに苦心せるかは歷々こして看取すべきに非ずや而して獨逸の山東經營も英國をして常に

▲不安の念に 堪へざらしめたるが如し若し大戰なく戰前の狀態を以て今日に及びたりこせば恐らく支那に於ける英獨の角逐暗闘は一層甚しきものありたるならん米國は民主黨のウィルソン氏大統領就任以來對外政策頗る軟弱こなりて當時支那に對しても積極的行動を執ることなく佛國も安南を防護する爲に廣西、雲南方面に其勢力を扶植せんこしたる以外には支那の中原に向ひて覇を爭ふの意圖を有せざりしなり故に戰前の支那に於て角逐の神に踴躍したるは實に日、英、露、獨の四國に過ぎざりし也而して大戰の結果は露獨兩國を全然支那より驅逐することゝなり將に漸く擡頭し來らんこする米國を加へて戰後の支那に於ては日、英、米三國の

▲爭覇戰を見 るの運命に在り彼の英國が露獨の聯合攻擊軍に對抗して其の勢力圈を擁護せんが爲に何等の價値なき威海衛を支那に返還して其代償こして舟山列島を租借せんこする如き事態は他日再び之を見るの時機來るやも亦知るべからざるなり日、英、米三國の經濟的勢力の消長分布を觀察するに先だち獨逸の勢力を扶植したる山東問題及び露國の計畫せる海蘭鐵道の將來に對して聊か講究し置くは當面の急務たるを信ず(某經濟通訊)

家計研究

私人の家計は、自から消費に關して一般の原則あり。獨逸の統計學者エルンスト・エンゲル博士は今より約七十年前夙に白耳義及び索遜兩國民の家計收入を調査して

◇私人 的消費の統計を作り此統計的事實より歸納して私人的消費の一般原則を定めたり。而して此統計は一八五七年エンゲル氏が索遜統計雜誌に公表したるものにして、デュクペシオー並にルプレー二氏の研究を根據こして更に氏自身の創意を加味したるものなりこ。生活費を八乃至五項の費目に分類し、總計を一〇〇こして各其割合を示したり

◇今茲 にエンゲル氏の統計を收錄して却つて乾燥なる數字を以て讀者の興味を減殺するを虞るゝが故に、記者は此の統計的事實を極めて簡單に凝縮して左に紹介すべし。尤も偶に多少の無理を犯したるは已むを得ざる所なり

甲、勞働者の家計

	白耳義	索遜
食費	六一	六二
衣住費	三四	三三
(食衣住計)	九五	九五
文化費	五	五
計	一〇〇	一〇〇

乙、中等社會及び稍富裕なる家計(索遜)

	中等社會	稍富裕の家
食費	五五	五〇
衣住費	三五	三五
(食衣住計)	九〇	八五
文化費	一〇	一五
計	一〇〇	一〇〇

◇右の 統計的資料の確實性に關しては疑問の餘地大なりこ謂はざる可からず。食費、住宅費或ひは燃料燈光料の如き個々の家計に於て、記錄は比較的正確を期し得べしこ雖も、衣服費の如きは之を可成り長時間に亘りて均分するの要あり。即ち品により數年の使用に堪ふるものあるこ共に他方數箇月にして其用を失ふものあり。之を精密に算出記錄するは寧ろ難事なり。從つて此の統計的資料も、其の確實性を損するに至る

◇此點 は英國統計學者ボウレー氏も指摘したる所なるが統計學者は資料の取扱上周密なる注意を拂ひて、其の確實性の減損を防ぐに努むるは當然にして、エンゲル氏は自家資料の缺點は十分之を諒認しつ、其の確實性を補正したる可きを以て、氏の掲ぐる統計的事實は大體に於て失當ならずこ斷ずるも大過無からん。同氏の表以後歐米諸國に於ての調査は大體に於てエンゲル氏法則の正確なるを證明したり。然らば此の統計的事實より歸納したる所謂エンゲル氏法則こは如何

◇私人 消費の一般原則即ち所謂エンゲル氏法則なるものは、凡そ一家族所得の增加は左の結果を生ずこ做すなり

一、食費の割合は減少す
二、衣服費の割合は殆ご同様也
三、住居燃料燈光の費用の割合は變動せず
四、教育衛生及び愉樂の費用の割合は增加す

註 右法則の譯文は山島博士著經濟原論に依る

然らば一家族所得の減少は如何なる結果を生ずるか、即ちエンゲル氏法則の逆を謂へば

一、食費の割合は增加す
二、衣服費の割合は殆ご同様
三、住居燈光の費用は變動せず
四、教育、衛生及び愉樂の費用の割合は減少す

◇即ち 下層勞働者階級の家計に於て食費は六一乃至六二パーセント更に衣食住の生活必要費は九五パーセントなるに所得の稍富裕なる家計は食費五〇パーセント生活必要費は八五パーセントなり。米國勞働調査局の發表に依れば、所得額二百弗以下の家計に於て食費は五〇・八五パーセントなるに、千弗乃至千百弗の家計に於ては食費は三八・七九パーセント也。

山茶花　高田芝堂
種茶未[illegible]硯香庵。只愛爛紅然小春。破窗纖纖阿誰煮。欲問山中隱者人。
學鷗曰、句句穩練。

小春郊行　藤倉藤隆
南軒風暖小春天。探句徜徉古道邊。喜色滿顏來往客。秋收正識是豐年。
學鷗曰、質實。

小春郊行　兒島九皐
城外菊節晴且暄。冲天一鶴舞翩翩。田家唯有大雞護。畦畝人忙採菜根。
學鷗曰、閑忙併寫大有韻致。

十二月十五日より三十一日迄
▲錦紗御召物、丸帶、縮緬長襦袢、紋付類高貴男物、其他長トンビ類
景品附歳暮大賣出し
安心して買へる正札店
あわじや
京城本町二丁目 江頭衣服本店 電話一三二五番
京城本町一丁目 江頭衣服支店 電話九一七番

趣味ご研究
佛様の素行調査
文學士 木村淨圓先生新著 □箱入美本布特製金字入□金壹圓廿錢郵税八錢□振替東京五七八〇 東京本郷元町 中央出版社
驚天動地的佛教界破天荒の奇書 初版賣切忽ち再版
佛様の正體は展覽會のやうに釋迦も阿彌陀も觀音も閻魔も地藏も不動も各宗の高僧名の付くものは悉く本書に陳列せられ加ふるに佛教から長所短所の批判を眞面目に滑稽に皮肉に諷刺を以て無遠慮の素破拔き[illegible]感心する人もあるべく吃驚仰天呆れかへる人もあるべし佛様を抱へて笑ひながら佛様の生ひ立ち品行性癖を知るを得べく坊さんは苦しながら自家唯一の研究資料たるを得べし即ち本書は一名佛様のアラ探シ前の珍書たるなり

日本女子商業學監 花の日會主唱者 嘉悦孝子女史考案
最新 實用 家計簿
▲定價金六十錢 郵送料八錢▼
大正八年度出來 好評嘖々 賣行如飛
發行所 東京市京橋區南鍋冶町 振替東京七九三四番 松邑三松堂

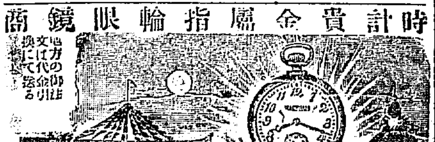
新築落成
市中ハ處今回愈落成致し客室は勿論萬事大改良致し御待遇等も益々親切丁寧を旨こし精々勉強仕候間何卒倍舊御愛顧の程奉願候
京城明治町二丁目 小川旅館 電話二五五一番

通俗 藥草栽培講義錄
增法を教授す規則書無代進呈 東京麹町内幸町一ノ五 大日本藥用植物研究會

成金の近道
僅か五拾圓の資金を投ずれば二十年後には七萬六千七百八十八圓となる現代最善の利殖法
◎此利殖法は投機的でなく何人も確實に一躍巨富を得やうと云ふ如き不確實の方法でなく
◎賛成の方は郵券二錢添へ申込次第營業案內送呈す
東京日本橋三代町一四 太洋興業株式會社證券部

改訂增補 日本家庭百科事彙
東京大學教授文學博士芳賀矢一 東京女高師教授文學士下田次郎 兩先生編纂 大本二冊 索引附 千七百八十頁
年末年初高尚優美なる贈答品の女王
嫁入調度の絕對必需品!特に女學校出の夫人令孃に薦む!!!
家庭實用品の女王ご仰がれて全國十八萬の良家に愛用せられ、日夕至大の便益ご幸福こを供しつゝある本書の信用は絕對的にして、最近一刷五千部の特價提供、殘部僅かに二百に過ぎず。此の數盡くれば[illegible]の結果、當分重刷の望なし、即時申込まるゝに非ざれば忽ち賣切こなりて遂に本書の恩澤に浴し能はざるべし
背角革裝幀 美麗口繪 精巧木版 千三百各種美術裝飾圖 冊七葉
殘部僅に貳百部 特價拾四圓(正價金廿圓) 月賦拂特價拾六圓
送料内地不要
内容見本進呈 (往復葉書申込次第)
東京神田 冨山房 振替一〇五

時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天龍堂 電話一〇〇二番 振替京城三四四番

三
歳暮大賣出し
福引 景品 進呈
京城 龜屋

◇我講和特使旅程

天洋丸にて米國に向ひし我講和全權委員の一行は桑港着と同時に其日の汽車にて紐育に向ひ牧野男は華盛頓を訪ひたる後一月十五六日頃の汽船にて佛國に直行し多分ボルドウに上陸す可し（東京特電）

▲附記　ボルドーは佛國西部ガロン河下流にあり葡萄酒產地として有名、貿易又盛なり

◇講和豫備會議開期

佛國政府は一月三日以前に講和豫備本會議を開會の意嚮あり（巴里電報）

◇新政府援助聲明

獨逸近衞聯隊續々伯林に入る

獨逸近衞聯隊の二十個聯隊は新政府に對する援助を聲明し續々伯林に入り市民は愛國的國歌を以て彼等を歡迎し宰相エベルトは鞏固なる新獨逸を建設する爲め彼等の力を藉らざる可からずと宣し軍人にしてリープクネヒト一派と絕緣する者多數なりと（倫敦電報）

◇獨逸飛行機引渡

休戰條約に規定されたる獨逸飛行機二千臺は九日聯合軍に引渡されたり（倫敦電報）

◇丁抹對露斷交か

クリスチアナ（諾威首府）來電＝諾威公使はペトログラードを撤退し尙丁抹は最近露國過激派政府と外交關係を斷絕せりと傳へらる（東京特電）

◇ボヘミヤに暴動起る

ボヘミヤ（墺）にて多數の暴徒蜂起し各商店に闖入掠奪を行ひ且つ之を破壞せり小銃機關銃亂射の爲め死傷者多數なり（倫敦電報）

◇米大統領ブレスト入港

ウイルソン大統領は十三日午後一時盛んなる禮砲轟裡にブレストに入港し同四時巴里に向け出發せり（華盛頓電報）

▲附記　ブレストは佛蘭西の西北部なるブルターユ半島西端の軍港なり

◇米對智秘警告

亞爾然丁調停の勞を執らん

秘露、智利兩國の紛爭に對し米國政府は速かに平和に復す可き旨警告を與へたり尙亞爾然丁政府は兩國の要求に因り調停の勞を執る事となれり（桑港電報）

◇米國海軍卿演說

米國海軍卿ダニエル氏は演說して曰く『米國の孤立の時代は永久に過ぎ去れり余は之を永久なりと確信す米國は世界の各國と關係を保たざる可からず』と（華盛頓電報）

◇總理信任案通過

總理信任案は十四日衆議院に於て投票を行ひたるが出席者二百五十二人中賛成者二百三十四人の多數にて通過せり（北京特電）

◇吉會鐵道借欵八千萬圓

吉會鐵道借欵本契約は不日成立を見る可く右は二百七十哩の鐵道敷設費を支那政府の五分利公債にて我國に引受け發行するものにて總額八千萬圓に上る豫定なり（東京特電）

◇大原伯爵薨去

從二位勳三等貴族院議員伯爵大原重朝氏は十四日午後六時腦溢血にて薨去せり享年七十一歲（東京特電）

▲略歷　大原重朝伯爵家は前左大臣一條卿二十二世の孫左少將實顯の後なり四世を經て重德に至る重德夙に皇室の式微を慨き力を王事に竭す其嗣子重實早世す伯は其長男にして嘉永元年五月二十一日を以て京都に生れ幼名を常丸と稱す明治二十一年亡父重德の勳功に依り伯爵を授けらる同廿三年貴族院議員に選ばれ其職に在りたり同四十年日露事件の功に依り勳四等旭日小綬章を賜はり日露事件の功に依り勳三等旭日中綬章を授けらる式部職御用掛として來仕し居たり

◇眞鍋男薨去

貴族院議員從三位勳一等男爵眞鍋斌氏は十四日腎臟病にて薨去したり（東京特電）

▲略歷　故眞鍋斌男は山口縣士族眞鍋安信の長男にして嘉永四年二月五日を以て生る明治五年陸軍步兵少尉に任じ爾來累進して同三十八年二月陸軍中將に陞任し同四十年九月華族に列し男爵を授けられ同年十一月豫備役仰付らる其間陸軍大臣副官步兵第九旅團長留守第五師團長等に歷

◇ベ大將と海軍費

米國海軍大將ベンジャー氏は下院海軍委員會に臨み論じて曰く[illegible]千九[illegible]

（上段右欄より續く）補し西南、日淸、日露の役に偉勳あり勳一等に陞敍し功二級金鵄勳章等を賜はり大正三年陸軍省參政官に任ぜられたり

◇上院常任委員

貴族院に於る各常任委員の選擧は本月廿八日擧行さる可く全院委員長は德川賴倫侯豫算委員長は淺田德則氏孰れも再選す可しと傳へらる（東京特電）

◎米國の活動と朝鮮牛皮

相場は先安

朝鮮の牛皮は運賃その他の關係上大阪相場に比し百斤五圓內外下鞘にあるを通例とす乃ち中皮の昨今に於ける大阪の市價は六十五圓見當に付朝鮮は六十圓內外を至當とすべきに實際の市價は六十七八圓を稱へて

▲逆相場　を現はしこれを昨年同期の五十七八圓なるに比して約十圓方上鞘にあるは不自然の觀あり尤も大阪市價の中皮六十四五圓は氣迷ひ裡の相場たり乃ち露國方面より大口の製革品註文來らんとする氣構へはあれどさりとて決濟の不安は容易に牛皮需要途の繁忙を豫想せしめず然も一方米國に於ては西伯利に製革品の大々的買込みを策しその決濟は同方面の各種原料品によりてなさんとするの計畫政府並に同國銀行家の後援によつて進捗し居り現に最近も桑港に於る製革品のソールエゼントとして有名なるクック會社は社員を浦鹽ハルビン方面に派して

▲多量の註文　を受け歸路永登浦の朝鮮皮革會社にも立寄り皮革の買込みを行ひ歸國せし實例あり之等の事情は米國製革品の本邦製品に對する壓迫の猛烈を豫想せしめ旁大阪牛皮價格の氣迷ひを生ぜしものなるが然も京城の牛皮相場が大阪よりも高値にあるこの理由は何等特種のものなく唯需要旺盛なりとの一語に歸すべく然し此の高値は（一）自然輸移出の減退を生む事（二）朝鮮皮革の如き大手筋が買控への態度に出づる事（三）銀價の漸落により支那皮の朝鮮輸入可能となる事（四）嚴寒季に入りて一般肉食の增進は自然

▲牛皮の出廻り　を多からしむべき事等のため目先漸落を來すべしと稱せられつゝあり唯露國方面の狀勢一轉し製革類の註文殺到するに至れば素よりその高値吹き上げは避け難かれど帝國の西伯利財政經濟援助委員會は調査のみに日を送り米國の如く著々實行の步武を進むる事をなさゞるため其の西伯利活動は目先の事にあらざるべしと

▼日米競爭優劣　賀田皮革社長談

西伯利に於ける製革品に付日米の競爭を生む事は早晚避け難きものゝ如きがその結果に付賀田朝鮮皮革社長は曰く日本には未だ米國製キット皮の如き優良品の製出は不可能の狀態にあり原皮の如きこれを同國に仰ぎつゝある狀態に付到底米國品との競爭はなし難きもボックス以下に至りては原皮並に製革費用內地朝鮮共に米國より廉價なり從つて米國品に政府の莫大の補助にても交付されざる限りその競爭には優勝の位置に立つべく朝鮮皮革としても十分米國に對應し行く計畫を樹て居れり

◎東露物資缺乏

▲東露方面　信用ある日本軍票に於ける物資供給難は最近稍緩和せられたるも流通紙幣の缺乏甚だしく外國品の輸入に鮮少ならざる障害を與へつゝあるチタ市に於ける過激派の軍資は去る六七月の頃帝國銀行出張所に砂金三百五十餘封度を提供し州內流通の紙幣二千萬留の發行を決議し千八百萬留發行したるも其は單に州內に[illegible]するのみにて舊露國紙幣の如く一般的信用なく輸入品を求むべく全然無價値である

▲日本軍票　はダウリヤオロウアンナヤ等に於て一圓對五留の割合にて流通しつゝあり信用厚く其取引は中々の好況を呈して居る日本より輸入する物資に對し軍票を以て支拂はしめ過激派發行の新紙幣の流通を局限するに努むるに於ては日露貿易は更に進展するであらう東露方面は斯くの如く尙物資の窮乏に苦しみつゝあり而して日露貿易の前途は好望なりと雖も通貨が地方的なるを以て取引頗る困難にして成るべく

▲物々交換　を爲し且つ取引は長春又は哈爾賓に於て行ひ貨幣を日本圓銀か軍票か又は露國舊紙幣、ケレンスキー紙幣に限定するにあらざれば幾多の損失を被るの虞があるから大に注意すべきである西伯利經濟援助の爲め日本商事及び日本軍隊の手を經て麥粉砂糖等を後貝加爾地方に輸送し廉賣したることは數回に及び其結果良好なるものゝ如くであるが今少しく精良にして且つ多量多樣の輸送品を得たいと一般住民は希望しつゝある（哈爾賓）

◎洋鐵界商況

最近市內釘本鐵商の洋鐵界商況觀測に據れば先月十一日休戰條約成立の報傳はりてより世界經濟界に少からぬ動搖を生じ騰熱し居たりし洋鐵は最も大なる影響を受け日々漸落を辿り人氣の沮喪は遂に本國相場よりも內地市價の方下位に在るの奇現象を呈し今日にては稍落に過ぎたるの感なきにあらず且つ久しく平和來を氣構へ需要向は凡て買控へに經過し來れる關係もあり新春の初相場に於て相當反撥あるべしと豫期せらる製品も戰前に比すれば非常なる暴騰なれど未だ平和の聲に格別の脅威を感ぜず品によりては却つて昂騰しつゝあるものもあり前途下落の期待は迹遠なりと

◎外船東航開始

休戰と同時に英米佛の諸外國にては海運界の街舊に全力を傾け一面に於て自國の食糧輸送に急を要すると同時に對外貿易の端を啓く事に努めつゝありしが極東復航同盟の一員たる彼阿爾格會社の如きは既に

▲東洋航再開　を計畫しその第一船として左の三隻を就航せしむる事に決定したりと

船名	英國發	日本着
ノアラ	十二月中旬	二月中旬
チロール	十二月下旬	二月下旬
[illegible]	一月上旬	三月中旬

右の外濠洲線は

ユリシーズ	一月
アガメムノン	二月
プライヤム	二月

等の船舶を配船し更に彼阿は一月中にペシャワー外一隻を順次繼續し少くも兩社共二週一回の航海をなし香港迄としては復航に於て横濱、神戶、上海、香港、海峽植民地、古倫坡、蘇士を經て歐洲に至るべしと而して英國が戰後に於て最も必要と認むる航路の船舶を解傭する方針に出で其第一着として極東同盟を實施したるは少くも英國戰後の經營に對して

▲東洋を重視　せる事は之を以て明白なるべく同時に今後同盟航路が漸次復舊する狀態なれば其結果は徐々我海運界に及ぼす[illegible]大なるべく殊に大阪商船が同盟に依らずして獨歐洲航路を開始したる今日なれば商船として相當の困難を感ずるならんと[illegible]は運賃及び荷物の關係上東洋向け荷物よりも東洋よりの復航貨物が其重なるものなりと云ふ（東京）

◎普校歲出豫算

本年度に於ける公立普通學校歲出豫算は全道に於て總計百八十三萬五千六百七十六圓にして此の內最も大なるは國庫及び地方費補助金の百四萬七千七百二十圓にて全額の六割弱に當り次は寄附金の十五萬七千四百九十六圓なり歲出は學校の增加と共に增大し即ち昨年の四百四十一校に比し本年は四百六十六校となり生徒も昨年の八萬一千八百四十五人大正元年の四萬二千八百九十一人に比し本年は八萬七千七百五十六人に增加したるを以て教員俸給の八十二萬二千四百五十三圓建築費の三十三萬三千五百圓等總て增加しつゝあり然れども一圓當り生徒一人當平均とすれば反つて減少し大正元年の十九圓三錢六厘同二年の十七圓六十一錢八厘同三年の十五圓十六錢八厘に比し本年は一人當十四圓六十錢七厘なりとす學校數最も多きは京畿道の六十四校にて此の生徒一人當經費は十四圓十七錢一厘、最も學校數少き咸鏡北道の廿校此一人當經費は十七圓四十九錢三厘となり居れり

◎英佛財界近情

在倫敦森財務官より高橋大藏大臣宛來電左の如し（東京）

▼英國國庫現計　英國本年度初め四月より十一月末迄國庫現計中の科目左の如し

▼收入　所得稅七千三百九十四萬磅、過剩利得稅一億八千三百四十六萬七千磅、經常收入計四億五千七百四十九萬磅、大藏省證券二十六億四千一百八十七萬九千磅、其他公債三億九千七百五十四萬五千九百三十磅、國民軍事債券十億千三百四萬八千七百四十二磅、戰時貯蓄債券六千四百三十萬磅、一時借入金十億六千百二十萬磅、一時借入金七億六千百五十二萬五千四百五十八磅

▼支出　普通歲出十六億千七百五十二萬二千百九十四磅、戰時公債利子一億五千五百九十二萬六千七百二十六磅、經常歲出合計十七億九千百三十二萬七千五百三十七磅、大藏省證券償還二十一億八百九十八萬四千磅、戰時公債四庫證券償還三千七百五十萬六千二百二十磅、其他公債償還九千二百九十八萬三千九百四十六磅、臨時出納證券償還二千二百二十三萬千七百磅、郵便貯金繰入二千百二十八萬五千七百八十磅、一時借入金償還九億八千十八萬四千百七磅

十一月末大藏省證券現在高十一億千三百八十萬七千磅、歲入前貸現在高三億七千三百六十一萬二千三百四磅、休戰成立後三週間の軍事費歲出は均三千七百五十萬磅にて休戰成立前六週間平均四千五百萬磅に比し非常の減額なり右の內最大なるものは米國に於ける戰爭材料購入費の減少なり然れども之が爲め英國の對米爲替に好影響を及ぼすものとなす可からず蓋し第一米國陸軍の歐洲に於ける費用は終局に近づき第二米國より原料買入の增加は戰爭材料の購入に代るべければなり

▼食料品等高低　英國食料省の調査に依れば英國に於ける一九一四年七月の相場を一〇〇とすれば本年十月の相場左の如し

▼交通運輸方策　英國運河委員は第二回報告書に於て鐵道運河道路に關し左の結論を公にす（甲）英國運輸機關殊に鐵道の戰前の狀態に復歸するを許さず（乙）戰時中鐵道運河の監督の狀態は一時的手段は永久策として滿足す可からず（丙）鐵道制度の統一は之を國有となすも又は私有となすも適當なる保管の下に施設す可き事なり

▼軍事債券賣上　十一月廿四日に於る一週間の國民軍事債券銀行賣上高二千二百廿五萬八百七十六磅にして前週に比し減少を告げたるが十一月一日以降每週平均尙ほ二千五百五十萬磅を下らず

▼佛工業復興省　佛國は休戰締結の結果軍需省を改造して工業復興省を新設するに決し右に關する勅令は十一月廿六日發布せられたり同省の主要任務は（一）終戰後の原料品の存在並に需要關係に從ひ他の官省と和調して佛國製產力の發展に盡力を傾注する事（二）他の官省と和調して需要品の分配を調節する事にして工業復興省所管事務の詳細左の如し（一）軍需省は製產業及化學工業に必要なる物資の分配を管理し來れるが今後原料品以外の物資の分配は[illegible]商務省內技術課に[illegible]工業復興省をして管掌せしむ[illegible]新大臣は軍需大臣ロンチュール氏任命せられたり

◎英國艦隊行動

露國を援助せん

目的とすれどもバルチック沿海州方面に於ては獨逸軍隊の引揚運動を以て其の機に乘じて[illegible]勢力を處分せんとを望みつゝある英國艦隊は目下リボーより[illegible]

◎婦人飛行家

近く來朝せん

[illegible]

◎今村財務官入京

駐歐財務官今村次吉氏は既報の如く十五日午後九時南大門驛着京城朝鮮ホテルに投宿せり同氏は十六日朝出發北行の筈なりしも都合に依り十七日頃に延期せる由

◎兒島總長動靜

兒島總務總長は十五日夜光州に來り十六日午後四時五十五分木浦着列車にて來木十八日午前七時二十分發列車にて歸任の由（木浦）

人事

▲長崎辰治郎氏（三井物產棉花部長）十五日入京同夜出發

▲キヤースル少佐　十五朝退京

▲井戶川少將　同上水原へ

▲石澤遞信官　同上

烏瞰錄

遞信局では此十月一日現在の職員錄を發行したが從來の職員錄は總督府職員錄の頁數を減らしたやうなものだつたが、新しく出たのは局長二段でとなつてゐる▲內閣印刷局發行の職員錄も體裁を更へたし、遞信局の人事を取扱ふ監理課長も更任したので勞て新意匠を加へたものと思はる▲それに就て矢野監理課長は曰く『新職員錄は以前のものに比し少くも三つの特色を具へてゐますよ▲乃ち第一に小型なるやうになつた、つまり携帶に便である▲第二に紙の節約を來して經費が大分助かる▲第三に電話番號を入れて鳥渡見る者にも便利なやうにした▲外に二つばかりの特色をもつてゐるさうだが、烏瞰子もつい聞き洩らした▲遞信局と云へば朝鮮全道の隅々にまでその機關は及んでゐるから、從事員は總て七千餘名に達するさうだ▲尤もその大多數は傭人級の配達人や何かであるから新職員錄に上る光榮を有してゐるものは彼是三千人ばかりらしい▲年末になつて色々の決濟の關係や、買物の殖ゑたのやで郵便貯金の拂出しの需要などで小錢の不足は大分ヒドイようだ▲殊に十錢以下の銅貨が缺乏してゐる、郵便の横山庶務局長に『銅貨は來さうにもありませんかね』と或人が聞くと▲『實は私も每日どうかこうか（銅貨硬貨）と思つてゐますが、仲々來ませんでね』などと洒落てゐたさうな

文藝課題及募集規定

□募集規定　▲用紙は半紙か又は同形の用紙一枚每に雅號又は氏名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

法人登記公告

一、左記事項中目的ノ一部ヲ變更シ[illegible]

大正七年十二月拾壹日登記

京城地方法院水原支廳

二千反限り　新機　高貴織　十八金色指環進呈

高貴織が二圓七十錢で買へるとは原料の高き今日嘘のやうだが現に過去七年間吳服問屋間の信用を取つた東京市日本橋區本石町一丁目吳服問屋鶴谷商店が最新流行の新機高貴織を前記の如き廉價で提供す[illegible]

醇良清酒

京城本町一丁目　特約販賣店　佐藤牧次郎　電話一一九番

大阪府堺市　醸造元　肥塚源次郎

到る處の文房具店にあり

ラーヂ萬年筆

LARGE C.SAKAI

賜宮內省御買上　賜各宮殿下御買上

男子用五圓五拾錢より十圓迄

婦人用金貳圓五拾錢より拾圓迄

東京市日本橋區馬喰町　文房具問屋學習院御用　酒井長次郎商店　電話浪花五一七番　振替東京四九五三

たんせき　ぜんそく

見る間に切れる！

嚴寒となつてたんせきぜんそくが愈々流行出しました、普通の風邪心地がたんとなりせきとなりぜんそくとなると最早油斷はなりません、捨てゝおくと肺炎、肋膜炎等に變じ遂には

肺結核の原因ともなります

永年痼疾のたんせき、ぜんそくの人は勿論、本年始ての人も早く龍角散を服用なさいませ。

龍角散は香味爽やかにて服みよければ如何なる藥嫌ひの人、子供にも適し、服む度びに精神ハツキリと蘇生せしめ、咽喉の苦しみを除き、數年頑固のたんせき、ぜんそくも薄皮を剝ぐやうに自然と快癒せしむ。

かゝる人は必ず試みよ

たんにて常にゴホンゴホンと惱む人

ぜんそくにてゼイゼイいき切する人

せき頻に出て夜中オチオチ眠り兼る人

流行感冒より起るたんせきの人

肺病にて常に力なきせき出づる人

たん臭氣を帶び時々血の交る人

百日ぜき又ははしかせきの小兒

音聲のかれ又咽喉のいたむ人

定價　三日分二十錢　一週分四十錢　二週分六十五錢　一月分壹圓拾錢　送料無料

本舗　東京市神田區豊島町　藥劑師　藤井得三郎　電話神田二〇七八　振替東京九一

取次　全國各藥店にあり本舗へ御注文は振替又は切手代用に願上候

中風病（ちうき）

余が家は祖父及び父と母の三人も同病にて困難したる遺傳系統にして其悲しき實驗より得たる良藥を郵券二錢添附新聞名記入照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の序發書無代進呈す

兵庫縣明石中町　加古忠兵衞

最新刊

ポケット日記

[illegible]

●年末年始の御贈答品として一番喜ばる萬年筆を御勸め申候　ウオーターマン其他新直輸入品各種潤澤に取揃居候

京城本町一丁目　大阪屋號

釜山著名商店案內

釜山　島田糸店　絲類物專門　電話五七八

長岡商店

酒精・燒酎　西貢米・碎米　砂糖・麥粉　雜穀食料品　釜山埋立新町　電話長一〇八番

雜貨問屋

釜山　あづまや商店　清酒・罐詰　糖粉・官煙　電話三五九番　振替京城三九番

◇米鐵道官營期明か

米國鐵道管理局長官マカヅー氏は今後五年間政府にて鐵道管理を繼續する意思ある事を發表せり(華盛頓電報)

[illegible]れりと云ふ右革艦隊のバルチック海行動はバルチック海面並に沿岸に於ける獨逸勢力の處分を主なる[illegible]突[illegible]て頗る混亂を極め地方住民は聯合國の力を藉りて過激派の[illegible]健全分子を支援するは聯合國の立場として相當救援の方法を執るに至るべしと(東京)

[illegible]間にて二千九百五十哩飛行の記錄を有するユトスロー孃は近く支那、日本、印度、濠洲を訪問飛行すべしと(桑港電報)

◎戰後の經濟戰に
我商品の聲價を維持する爲に粗製濫造品の取締をなす

歐洲戰爭勃發以來我邦商品の輸出は頓に增加したるが內地商人の淺猿しさには遂に粗製濫造の如何はしい輸出品で一攫千金を夢見る者多きより戰後の對外發展策として此種の奸商を嚴重に取締ること〻なり調査中であるが之につき某氏は語る『前後五年に亘つた歐洲大戰も辛うじて終熄した所で今後歐米列强が愈々一大經濟戰を開始するに當り我國も是れに

◇對抗する　丈の準備を今からして置かねばならぬ何しろ世界始まつて以來未曾有の大戰のお蔭で我國の化學工業を始め製作加工品は長足の發展をしたが其多くは實質の如何を別として專ら數量許り多くすることに心を奪はれて居る尤も海近に發見された

◇硬化油　などの世界に誇るに足りるものは別として染料薬品、綿製品等の中には往々見掛けのみ佳くて中味は實用にならぬものが少くない例へば染料の如きは直ちに褪色するのがある因に農商務省でも現に硝子、鐵器、莫大小、燐寸眞田、鉛筆等輸出品の

◇粗製濫造　を取締るやうな方法をしてる位である又東京府でも來春四月頃に出來上る商工奬勵館に專任の技術者數名を置き農商務省と步調を同じくし府中に於ける輸出品の聲價を高からしむる方針を取る筈である』

◎鐵道小荷物 引渡期間
取扱ふ荷物に限定を附し遲れたら…… 運賃を割戻す

◇一月十六日から實施　內地鐵道院の貨物運送に就てはこれまで種々な缺陷があつた、東京から大阪の或る劇場に花輪を送つたのに登場役者が大阪が樂になつて東京に歸つてから向ふの劇場に着いたり、田舍から歲暮に送つた炭が普通から十五六日も遲れた例はいくらもある、鐵道院はさういふ缺陷を防ぐ爲めに、鐵道で

◇取扱ふ荷物　に對し豫め引渡期間を定め其の期間の遲れた場合は其れに應じて『運賃の割戻し』をする規定を定め、來春一月十六日から施行する事になつた其の內容は先づ『發送準備期間』といふのを定め小荷物は一日、急行便大貨物は一日、普通便大貨物は二日、次に『鐵道輸送期間』は小荷物が二百哩以下一日、急行便大貨物は百六十哩以下一日、普通便大貨物は八十哩以下一日

◇汽船に依る　『航路輸送期間』はこれを別に定め配達附荷物に對しては別に『配達期間』一日を加へて其の定められた期間內に荷物の受取人に引渡をせず期間を經過した場合其れが二日間超過した時は運賃の一割、四日が二割七日が三割

◇十日が四割　十日以上が五割といふ風に運賃の割戻しを受けることが出來るのである、例へば東京から大阪まで荷物を出す場合は荷物受託の日の翌日午前零時から起算して東京發、大阪着配達することにして滿四日間が定められた時間で其れを經過した場合は前記の率に依つて

◇運賃の割戻　を受ける事が出來るのである、但し天災事變、戰亂、警察其の他の行政上の手續其の他止むを得ざる事由に依つて停滯する場合は其日數を別に計算する、更に角此の制度にて鐵道便の荷物輸送が現在より圓滑に行けば結構である

◎鴨江愈結氷か

屢々結氷の狀態を示し且つ屢々流氷したる鴨綠江も愈十二日頃結氷を見たるが昨年に比し一日早しと因に十二日の最低溫度は零下十八度にして氷上通過を見るは尙ほ數日間を要すべし(安東)

◇新兵さんの初外出

この鄕日に入營した龍山聯隊の新兵さんは十五日の日曜に始めて外出を許された中隊長や班長に引率され隊伍を組みながら歲末氣分渦を卷く市中を見物して步いたが要所々々では引率者が說明な試み『是は朝鮮銀行と云ふモノぢや解つたか』と云つた塩梅、說明を濟むと乾度珍問答が繰返される『山田、是は何か』『ハイ朝鮮銀行で……』『何故』『ハ…い…、ありますと結末まで明瞭云はぬ』『ハイ山田が惡くありました』などと云ふ調子で一同ドッと大笑ひ、この日は申分のない四溫日和だつたので新兵さんは皆大喜び昌慶苑なども暢然した氣持で見物が出來たやうである(寫眞は朝鮮銀行前の新兵さん)

◎大阪驛で 四萬圓の株券を盜む
‖行囊を破り‖

神戶元町五丁目株式現物商藤井忠商店は大阪株式取引所現株百二十株東京株式取引所現株二十株(總額約二萬八千圓)を第六十銀行に託し又元町七丁目株式現物店井上安商店にては大阪株式取引所株六十株(一萬三千圓)を第三十八銀行に託し十一日午後四時頃兩者共京都の取引先に輸送方を依賴せり然るに十二日午前四時頃大阪驛構內にて行囊を破り前記株券全部を盜みたる者あるを係員が發見し直ちに其筋に訴へ目下嚴重搜索中なり(大阪特電)

◎殖る小包
包裝に注意せよ 早目に出せ

年末には商品の仕入や發送が頻繁になるのと個人間に品物の贈答が盛んになるので例年小包郵便物の取扱數が俄に激增するのが常であるが今年は船舶鐵道の輸送力減退の爲物品の輸送に小包を利用するものが一層多くなり從つて其取扱數量も例年以上の激增とある

△小包係は　語つて曰く『小包は必ず强質の紙又は布を以て包裝するとが肝要です質の弱い紙などを使用されると遞送途中肝腎の中味が拔け出したり又は破損した爲に終に送達が出來ないやうな場合があるから注意せねばなりません就中

△流動體に　關する品物は一層嚴重に包裝して頂度い包裝が不完全だと單に破損するのみならず他の郵便物を汚損する患があるからである小包の包裝に淡で宛名を書く人があるが是は遞送中滲消するので發受人の住所氏名が不明となり取調に多くの

△日時を要　するのみならず雁、鴨の如きは全然腐つて了つてから配達されるやうな場合も尠くない次に小包に信書を封入することは郵便法に違反して居るにも拘らず窃に是を封入し稅關檢查の際發見せられる者が珍らしくないが斯うした違反者は嚴重な處罰を受けねばならぬから是亦呉々も御注意を願ひ度いと思ひます』尙小包は數量が激增したのと

△稅關檢查　等の關係上當分遲着を免れぬ見込みださうだから成る可く早目に差出す方が得策だと云ふ

◎列車內に 獲物の山
賑うた狩獵大會

八日狩獵大會を催して好成績を擧げた朝鮮獵友會では十五日更に本年掉尾の大會を京義線一山以北に催した此日驅參じた大天狗小天狗合せて十八名人數に於て前會に劣る事二名だが掉尾の大會と云ふ丈けあつてイヤハヤ盛んなる事前會處ではない前會では前日から飛び出した勇者もあつて

⊠大分問題　を起したので今回は一同揃つて行く事となつて午前一時の狩獵列車で意氣揚々出發した列車が一山驛を過ぎると明々下車し始めて鷄井驛迄には全部下車して終つた各驛に下車した猛者連は何れもお自慢の愛犬を引きつれ夜の白んだ頃から活動を開始したが平素の鍛へた手並を見せるは此時ぞとばかり恐ろしい勢ひでポン〳〵擊ち捲つて各

⊠獲物を肩　にニコ〳〵もので引揚げたのは南大門著午後七時二十五分列車であつた歸途の車中は雉鴨鶉で山を築いたが獐も一頭見受けた各大天狗は鼻突き合せての功名談に花が咲いて非常に賑つた列車が汶山驛を過ぎた頃獲物の審査が始まつた其結果を示すと一等和田(雉一八鴨一二)二等小林千(雉四、鶉一〇)三等高岡(雉七鶉二)四等早川(雉一四鶉二)五等中山(雉六)六等小林鐵(雉七鴨三鴨一)七等瀧川(雉五獐一)八等吉武(雉七)九等吉田(雉三)十等木部(雉一鴨一)等で各賞品を貰つたそれから當日は豫め紅軍白軍の二組に分けて取を取つた方が江戶川に

⊠勝軍一同　を招待して御馳走する事となつて居たので紅白兩軍の點數調が始まる其結果は白軍五百四點紅軍五百七點即ち三點違ひで白軍の敗となつたので紅軍の誇り聲へんようもなく萬歲を唱へる拍手が起る車內は一しきり動搖めいた

◎煉瓦建の 咸興停車場
三萬九千圓で盛陽社が工事を請負うた
◇異彩は時計塔

將來咸興の玄關口ともなるべき咸興停車場が愈々三萬九千二百八十五圓五十錢で盛陽社の手に建設されることに決定した、その構造は所謂近世式で全部煉瓦建平家總建坪が百七十一坪七合五勺、先づ車寄せに立つて中央待合室に進むと左側が三等待合室手小荷物室で兩室の中間中央待合室に面した場所を賣店に設計されてある、右側が一等待合室電信出札室と一等室の奧が驛長室になつて居る電信出札室の奧が驛長室になり驛長詰所あり宿直室、車掌詰所のある事、手小荷物室横手が乘客の出口になつて居る事は他の驛と餘り無い只異彩を放つて居るのは前記の如く煉瓦建である事と車寄せの屋根上に地上約四十六尺の高さに時計塔が聳り立つ事である

◎馬鈴薯と、甘藷を……
◆米食に代用せよ─農商務當局談

本年の甘藷、馬鈴薯の全國收穫豫想高は甘藷十億五千八百萬貫、昨年實收の五分七厘增、馬鈴薯三億九千六百萬貫、昨年よりも一割四分增、何れも上々作であるが米價騰貴の折柄

▽代用食物　として大いに奬勵すべきだと農商務省當局は語る、今馬鈴薯を例にとると、米一升と馬鈴薯一升とで炊いた飯は三升と二升餘となる勘定で、而も滋養分を增る爲め、假りに含水炭素量の上から比較すると

▽馬鈴薯の　一貫目は玄米七合二勺、白米六合四勺に相當する、詰り白米一升丈けの滋養分は馬鈴薯の約一貫五百目にある譯である、之れを更に經濟關係に移して見ると、假りに原產地附近が馬鈴薯一貫目十五錢、白米一升四十錢相場とすれば

▽藷を白米　一升丈け食すると二十三錢四厘で間に合ふ、結局十六錢餘の得となる事になる、一貫目五錢位で買へる地方は半額となる譯である、一方生產方面から見ても之等は傾斜地、荒蕪地にも適して增收が案外容易な物である、食用としては

▽一分角位　に切つて米に混ぜて炊ぐのであるが、白米に三分の一位混じても普通の飯とさして變りはない、尙ほ又乾燥の上貯藏して置いても差支ない

◎智利の大地震
コピアポ市潰滅死者夥し

智利共和國アタカマ州に强烈なる地震あり首都コピアポは全く潰滅し死者の數夥し(桑港電報)

◎獸肉魚を永久に保存する
◇新乾燥法が米國で發見された

コロンビヤ大學化學及び工業研究所は新しい乾燥方法を完成したる旨を發表した此乾燥法に依れば肉類魚類は永久に保存し得べく又乾燥したるものに水を適用して元通り新鮮なる狀態に復せしめる事が出來る此發見は冷藏庫に必要なる裝置を除去するを以て全世界の肉類輸送容積を從來の十二倍に增加せしめ得べしと信ぜらる(紐育電報)

◎歲の市
成金景氣溢る

日曜と四溫日和、歲末月半に達した爲めか十五日の本町通りは人出夥しく殊に大賣出しの幟や提灯に更に松葉の軒飾りを加へ愈々擬つて來た店頭裝飾を背景として狹い本町通りを行き交ふ人々や慌しい車馬の騷音に

◆◆暮の氣分　は俄に濃厚を加へて來た。吳服太物店、雜貨小間物店、履物店、書店、等何處を覗いて見ても大入だ。それも其筈今年も早や餘すところ僅に二週日本年中の總勘定と新春を迎ふる仕度に安閑としては居られない。そして銀行會社商店等でも早いところは最早や

◆◆年末賞與　が渡つた筈だから俄に活氣づいたのであらう。三越吳服店なども一昨日からは朝から夕刻まで雜沓するほどの客であつた。衣類も贈答品も上等の物が賣れるが殊に賣藥家の買物は大きいさうである。之から察すればまだ成金景氣の中に浸つて官吏や會社員等の

◆◆懷具合も　上景氣と見ねばならない。兎に角之から官吏や會社員等が年末賞與に焉へばもつと〳〵景氣づいて行くであらうが十五日は其序幕とも見るべく本町通りの通行人を數へたら十分間に千以上の人出であつたらうと思ふ

故鈴木校長吊慰及奬學資金寄贈者名
第九回

一金三圓三十錢　龍山小學校組合管理者並吏員中
一金六十圓四十錢　第二龍山公立尋常小學校職員兒童中
一金三圓　若草町一〇六　後藤泰郎
一金一圓　初音町二七　山本修
一金五圓　慶北星州營林署　矢田貫
一金一圓　全南務安郡智島面　金祥洙
一金一圓六十錢　漣川公立普通學校生徒　平賀虎雄外廿六名
一金二圓　安東縣鎭橋通　吉住軍八
一金五圓　旭町一丁目　吉田勝次郎
一金一圓　同　澁谷清兵衛
一金一圓　同　梅垣藤三郎
一金一圓　同　伊藤路加
一金一圓　同　中村健三
一金一圓　勸農洞一八七　趙癸明
一金一圓　大邱　某
一金一圓　龍山　島崎千里
一金一圓　仁川　島崎アヤ子
一金一圓　同　島崎笑子
一金二十圓　京城食料品卸商組合
一金十圓　京城共益社內　竹中多計吉　高井兵三郎　菅原薰亮
一金一圓　同共益社內　林伊三郎
一金一圓　南大門小學校生徒　犬飼篤治
一金一圓　同　犬飼俊三
一金一圓　同　犬飼ゆき
一金一圓　日出小學校生徒　同秀一
一金一圓　京城　手島常夫
小計金百參拾貳圓參拾錢
累計金貳千百七拾八圓參拾七錢

故鈴木校長遺族 吊慰及奬學資金醵金

龍山元町小學校長鈴木志津衛氏が同校の出火に際し御眞影を安全の地に奉遷せんとし猛火を踏みて奉安室前に進み拜跪したるまゝ壯烈の最期を遂げたるは事實に於て國民思想上に大なる教訓を貽したるものにして永く後昆に傳ふべきの事蹟なりとす而も氏には老母尙ほ堂に在り寡妻遺孤亦其の倚る所を失ふ洵に以て痛悼に堪へず爰に下記三社は遍く江湖に向つて吊慰及び遺兒奬學資金を募め聊か氏が在天の靈を慰せんとす庶幾くは御贊同あらんことを

一、金額に制限なし
一、期限は十二月末日を以て締切とす
一、醵捐者には別に領收證を出さず三社發行の新聞紙に掲載して之に代ふ
一、特に龍山各位の爲めには十八銀行支店及び出張所に取扱ひを依賴せり

大正七年十二月八日

朝鮮新聞社　京城日報社　每日申報社

[illegible]十四日　十五日　十六日　十五日　十六日　十七日

▲京日案內　▲申込中後途掲載中止の節は料金不返却▲六回以上の御申込は特に割引のこと▲御照會は返信附にあらざれば回答せず　一回前金　番外一回前金

京日案內

高價買入御一報　不用品　黃金町三電話一八六二關根古物店
旭炭團卸小賣　大勉强　龍山間遠近多少に依らず配達仕候　南大門通御成湯前電取次四八一　宮崎商店
移轉　今般業務擴張の爲め事務所を左記に移轉仕候　京城本町九丁目三十六　電話一六〇〇番　共濟金融會　理事長池田與三郎
恩給立替　地方は規定書送呈す　京城府若草町郵便ポスト前入　御渡し致します電話二〇一八番　西村商會
開業　西洋料理　十五錢一品　明治町二丁目(勸業御一人前三十錢以上)　電話取次一八五一　サクラ軒
事務員　中學卒業にして廿歲內外二三名募集本人自筆履歷書持參直接來談　横濱火災保險會社京城出張所

女の命を取る　子宮病とレけ　血の道ヒステリー產前產後月經不順頭痛逆上眩暈耳鳴肩の凝貧血食慾不進寢汗冷込大帶近く小便近く內膜炎婦人病症不眠症等女の病一切手早く治る不思議の藥惠命湯說明書人助けの爲送呈す

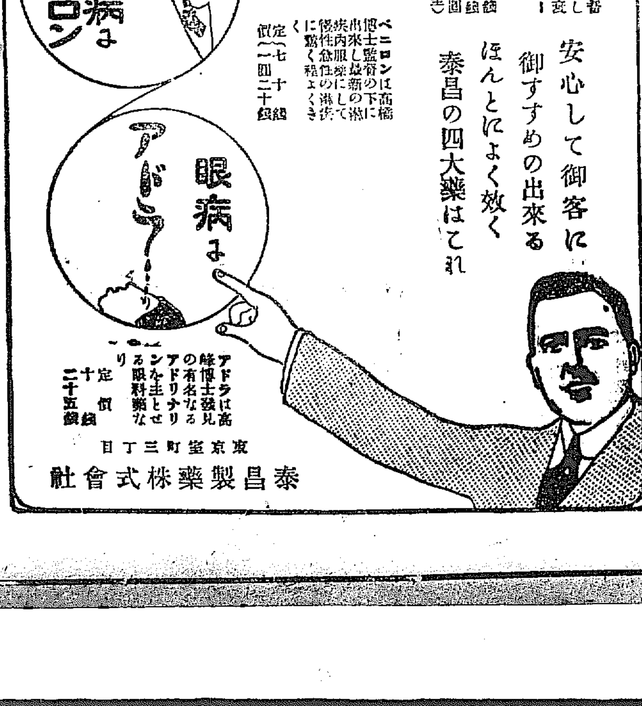
いやでも治る　りん疾七日藥　○○○慢性麻病　○○○急性麻病　○○○女子消渇　○○○膀胱加答兒　○○○睾丸炎　○○○尿道狹搾　永年實驗の信用ある發明品早く治る不思議の藥也說明書送呈す　東京神田今川小路一の六　大阪南區堺筋八幡筋北入　本舖日本山口藥院

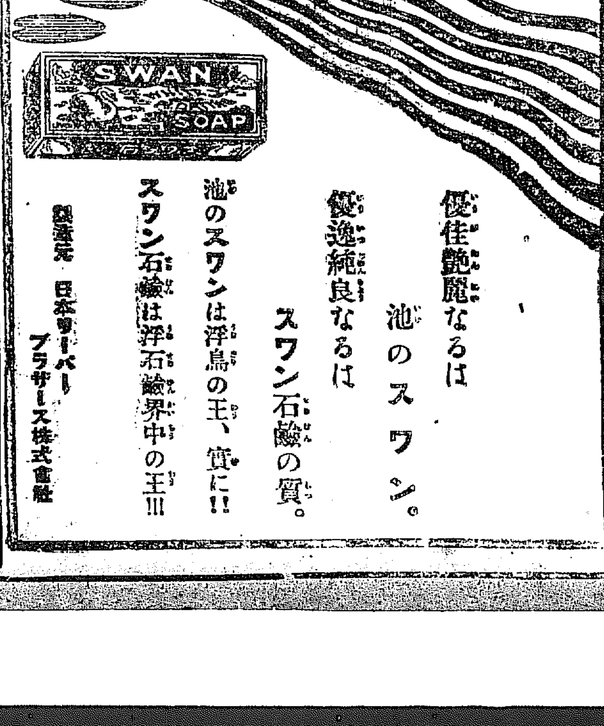
てんかん　病と小供のヒキツケ　腦神經衰弱で困難の方永年ナル專門良藥あり一劑でヨク三錢送れば其詳細を無代通知す　名古屋市中區南小川町　救生館

忘年會は特に大勉强仕候　會席御料理仕出し　京城旭町一丁目　權平庵　中井ゆく　電話二〇四六番

ぜんそく湯　如何に慢性で重症の喘息でも效驗は確實です昨年御服用者はお蔭で今年は再發ぬと喜んで居られます喘息に本藥以上の妙藥はありません責任ある效用の保證藥お試し下さい　藥一週分一圓廿錢　價二週分二圓卅錢　送料八錢　海外卅錢　東京小石川區下富坂町二十　無量壽藥園　電話小石川二九五六　振替東京二〇〇二一

ヒコーキ印粉劑消火器　素破!!と言ふ時はこれだッ!!　京城　熊平支店　電話六二一四番　振替口座京城二二一五番





とと子 (五十五)

北島春石作 森田久畫

愛想づかし(三)

『まあ、大相時代な台詞ねえ。』

朔平から凄い啖呵を浴びせられながら、お雛は張合のないほど落着いて上目遣ひにじつと見あげて、

『ぢや、わたしの變心が憎いから殺すといふんですね。』

『さうとも―この憎い口を引裂いてくれるんだ。』

『何うも憚り樣ねえ、さあ、腐物に眼がつけられるなら、つけて貰ひませう。』

『うむ、片輪にせずと濟まされるか。』と朔平は無暗と喚り立ち『おこて吠面を搔くな。』

『ほゝ、御冗談でせう。』と捨鉢に出て、お雛は男を睨りつけた『何うせ男と女ぢや勝負にならない。最初から敵はないと知れつつ、なまじひ手向ひするだけが野暮だ。壁へ三日でも抱擁されたお前さんに殺されたら本望……突くとも斬るとも思ひ切り好くやつておくれ。』

あれとか何とか悲鳴をあげて逃げ廻つてこそ張合ひもあれ、然う捨て鉢に投出されては、折角殺氣立つたのも石鹼玉と消え、出合のない事が夥しい。

『う、う、む、貴樣は命が惜くないか。』

と、最初の劍幕も何處へやら、流石は無暗と容骨が萎け振り廻す殺氣もなくなる。

怎うなると、悲しや足元を附込まれるばかり、お雛はますく朔平を甘く見てかゝつた。

『人間並に生きても五十年、怎うせ一度は死ぬに極つたら、今更泣かうが笑はうが追つ着かない。さあ、餘計な文句は拔きにして、お前さんの存分にしたがいゝぢやないか。』

お雛から蹴を摩付けられる度に朔平はじりくと二歩三歩、茶の間から障子の外まで退卻する。

それを追駆るやうにして『ちよいと―お前さんは何處へ行くのさ。ね、今度は此方でこそ唯は濟まさない、どうあつても殺して貰ふんだから、今更卑怯な眞似をしておくれでない。』

『何が卑怯だ？ 貴樣の白粉首を捻切るのは假令だが。名誉の知れた淫婦風情と大切な命を取換て引合ふものか。』

『その淫婦に振られたのが癪に障つて、片輪にするとまで熱を吹いたのは誰なんだい。もう棺桶へ足まで突込みかけながら、急に生命を大切にして何うするのさ。』

『馬鹿を吐かせ―俺は百歲まで長命する了簡だ。』

『ほんとに呆れたもんだね。お前さんのやうな意氣地なしが殖えるから、だんくく世間が不景氣になるばかり……それよりか、こゝでわたしと無理心中をしたら、死花が咲くといふもんぢやないか。』

『何を？』

『何をもないもんだ―其方が卑怯な眞似をするなら、此方こそ承知されないから。』

さう言つたかと思ふと、お雛は燒火箸に手をかけた。

その逆ねぢに脅かされた朔平は、先刻、猫板に投出した紙幣を引つ摑ふ隙もなく、慌てゝ玄關先まで飛退いたが、そこにほんやり佇立つてゐるお袖を見るや、

『わゝ―邪魔だから退きやがれ。』とばかり、例の容骨がその横面へ飛んで行く。

これがほんとの傍杖で、わつとお袖が泣聲を立てる間に、もう朔平は格子外まで逃出してしまつた。

『ちよーなんて間拔けな奴だらうね。』と忌々しげな舌打ちして、お雛は少婢を睨み返した『何だつてそんな處にほんやりしてるのさ、お前も彼奴に輪をかけた馬鹿だね。』

とたんに、次の間の襖がそろりと啓いて、いつか人形町のビヤホールで見かけた優男が生白い顔を出す。

『ようく紀の國家。』と聲をかけて『姐さん、すつかり手前の畑を荒しましたね。』

『馬鹿におしでないよ。』と、お雛は始めてにつこり『先方が逃げてくれたから好いけど、これでもびくくものさ。』

◈冬の美膚術

▽婦人は冬には
▽皮膚の營養は
◆最も注意が肝要です

師走の寒い風に曝されますと手足は勿論、顔の皮膚が大變に荒れて來ます殊に白粉などを平常つけてゐる方はよほど皮膚の營養に注意しませんと

△生地を損 却つてザラザラと氣味のわるい鳥肌になります。むやみに石鹼をつけてゴシく擦りぬき白粉を塗りましたところで若し生地の營養が不充分であつたらかへつて滑稽な感じを與へます。磨つて磨き上た素顔の美は化粧した美より一層上品で床しいものであります素顔の美を冬に於て保たうとするには

△毎朝顏を洗ふ時はなるべく微溫湯を用ひその中へオーデコロンか或は硼酸を少し入れますと硬水が軟水となり肌を整へ生地を荒らすやうなことはありません入浴の時もあまり熱くては皮膚のためにも身體のためにもなりませんから適度の暖かさの湯に入るやうにし、あんまり硬い手拭ひを使はずなるべく地の荒い柔かいものを用ひるやうにするがよろしい

△洗面入浴の後はオーデルミンかグリセリンを少し掌にのせ顏や手足へかけて丁寧に擦り込みますとすべくした美しい肌の艶が出ます殊に平常から荒れ性の方は寢る前にステヤリンカンファイスか美人クリームかのやうな、ごく淡泊したものを顏や手足にすり込んでおきますと、脂肪や皮膚についてゐる汚物をスッカリと吸收しますから

▽翌朝の洗面 後肌がズッと細かくなります。血色をよくする方法として西洋婦人は寢る前に生葱を少しづゝ食るさうですがこれはたいへん効能があるといふ事です。また過酸化水素の入つて化粧液も皮膚を漂白し、而して血色をよくする効があります

◇毛織物の洗濯

△乾燥法が第一等
△家庭では斯樣に

寒さが加はるに伴れて肌着其他に毛織物を多く用ひる樣になります、毛織物の汚れを去るには乾燥洗濯が一番善いのですが家庭では大さう手數がかゝりますから普通の洗濯法でよいとして

△アルカリ性の石鹼や熱湯は地質を弱め毛を硬くして毛織物の特色を失ふ恐れがあるのでけつしてお用ひになつてはなりません、シャツやフランネルの類ならばマルセーユ石鹼や浮石鹼の樣なアルカリ性のないものを細かく刻んで熱湯に溶して石鹼液を作りそめて溫湯に致します、その液の中へ洗濯物を暫く浸けて置き後に掴む樣に振り乍ら洗ひます

△晒の襦袢を洗ふ樣にくしやくしや揉んだり、洗濯板でごしくく洗ふ時は毛織物は縮んでちゞかまつて仕舞ひます、ですから伸ばす樣にして洗ふのでよいのです、全體洗つた上で未だ汚れの取れない部分はその部分だけを手よく掴む樣にして揉み、幾度もすゝぎます、すゝぐ時に汚れが出ないで水が澄んでゐる樣になればそれでよいのです、すゝぐ水は熱湯でも又凍る樣な

△冷たい水でもいけません、絞る時はひねつてはいけないので水から引き上げて押す樣にしてあらまし水氣がとれたら陰干にします

新刊紹介(到着順)

▲實用間伐法(猪島新本氏著) 林業中最も有益なる間伐法に就き其の實行の時期及び方法を最も平易に説きたる書(五十五錢、東京神田南神保町一六岩波書店)

▲大陸(六の一二) 對西伯利問題(東男)朝鮮の經濟と商業(黒板勝美氏)西伯利亞難題(若槻東拓總裁)其他小園觀、鳳凰物語、自利利他國富主義、備民

▲婦と女子、彼女の犧牲等(三十錢、大阪淡路町一八共社)

▲利殖之友(十二月號) 二十錢、東京京橋南入船町一の一其社)

▲經濟時論(六の一三) 二十錢、東京芝田町六の一金星社)

▲ジャパンタイム東學生號(八號) 十七錢、東京麴町內幸町一の四、同社

▲家庭顧問(十二月號) 十錢、東京市内幸町一の六化粧品雜誌會

京城本町壹丁目
千代田號印舖
電話 九八七番
振替 八九七番

人參エキス
京城本町壹・電話一四八〇番 一八七〇番
ツ 津村兄弟商會

流行性感冒の手當

感冒が段々惡性に變化する
完全な手當と療法
痰咳と咽喉の良藥

全世界を騒せた流行性感冒も昨今は稍々下火になつたけれども一般から云ふと近頃の感冒は其病勢が惡性に變化して來て昨今其死亡率が段々増加して居る、死亡の原因は感冒が因で一般に身体の衰弱を來し肺炎を誘發して遂に危險症に變化するのである本病に侵された時は初めの輕症の内に完全な手當すれば大概は併發症を惹さず良好に治癒するのである。

而して何人も本病に侵されたならば、病室を乾燥せしめ、責任的に調劑したるホシ鎭痛解熱藥を用ひよ今度の感冒の特長たる高熱及四肢關節の痛みは忽ち消へ去るべし、若し小兒が本病に侵された時は、小兒の体質を基礎として調劑したホシ小兒風藥を服用せしむれば熱は消散し、痛みは去つて速かに治癒するものである。

而して本病者の內、痰咳を頻發する人はホシ祛痰藥を又咽喉を侵された時は、ホシ復方鹽剝散を以て、毎日數回含嗽をすれば速かに治療す。

今度の感冒に効能も最も顯著なる
ホシ鎭痛解熱藥 定價 十錢 廿錢 五十錢
ホシ小兒風藥 定價 金十錢
ホシ祛痰藥
ホシ複方鹽剝散

東京市京橋區南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話京一七八五、三〇二〇、四一七番
振替東京二一〇五二二番

人參ニ優ル強壯劑
いんやうくわくえきす
淫羊藿エキス
通稱三枝九葉草エキス

適應症 一、思考力記憶力の減耗を癒し 二、神經衰弱及び勞心を救ふ 三、手足冷症 四、成年期の衰弱 五、血、貧血症 六、子なき人に良し 七、貧血症 八、手足腰の冷ゆるに良し 九、陰萎遺精及子宮病に良し

主效 神經衰弱 貧血 腎臟病 腎臟 ヒステリー 肝臟 リウマチス 老病 力減退

定價 二十五錢 一圓 三十錢入 五十錢入 九十錢入 一圓五拾錢 遞料 郵外二十錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
新田帶
京城南大門外 白神洋行支店
定價表申込次第送呈

朝鮮郵船出帆

△敦賀行(清津、城津、元山、經由) 十二月十七日 清津發
平安丸 十二月二十日 元山發
△浦汐行(大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由) 十二月十九日 元山發
越後丸 十二月十九日
△雄基行(關門ヲ經テ各港寄港セズ) 十二月卅一日 釜山發
京畿丸 十二月廿三日 元山發
出海丸 十二月廿八日 元山發
大阪商船國內各港ヘ 船舶發著日時ノ變更スル場合アリ詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ承合被下度候
京城 本町一丁目 電話二六一一番
仁川 京城內國通運會社 電話二〇八番
松浦 仲次郎 仁川本町二丁目 電話三〇一番

御仕意
◉外國航路線 歐洲航路ハ自下(?)出船其外時刻以テ道路便 切符發賣所 大阪商船株式會社 仁川支店
電話二一番 二三〇番

大阪商船出帆

歐洲行 一年四回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 孟買行 毎月一回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
內地各港出帆上要線
◉上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月十八日前六時出
◉基隆丸 十二月一日後六時出
(大連出帆)
◉宮島丸 十二月十九日後十二時
西湖津、新浦、城津、清津行
◉釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 十二月十八日後九時出
(元山出帆)
神戸大阪行 安東丸 十二月 日 正午出
×木浦大阪行 信濃川丸 十二月十七日 正午出
(仁川出帆)

尼崎汽船出帆

下關大阪直行 君が代丸 十二月十七日後四時出
大有丸 十二月十八日後四時出
山木浦、下ノ關、大阪行
神代丸 十二月二十日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 尼崎汽船 同支店

共同汽船出帆

仁川 共同丸 十二月十七日後四時出
京釜鐵道連絡(朝鮮總督府命令航路) 十二月十八日正午出

日本郵船出帆

大連、秦皇島、天津行
酒田丸 十二月二十日 朝出帆
仁川 模範丸 十二月十八日正午出帆
仁川 砂丸 十二月二十六日正午出帆
仁川海岸町二丁目(電話十六番) 日本郵船 同

仁川代理店 仁川本町四丁目 電話二二四番 郵船株式會社
元山代理店 南大門通 電話二七六〇 同
京城取次店 京城南大門通 同 運送店

五光商會汽船出帆廣告

◎第三春元丸 元山西湖、城津、清津行 十二月廿三日 元山出
◎第三春元丸 門司、宇品、神戸、大阪行 十二月廿九日 釜山出
大連、同 十一月十四日 電話一二三
釜山

▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基
穩城丸 十二月十七日 元山發
▲大阪行(元山發、城津、元山、釜山、門司、神戸經由)
平壤丸 十二月二十二日 元山發
▲關門行(雄基發、清津、城津、元山、釜山經由)
十二月廿二日 元山發
×京畿丸 十二月廿五日 釜山發
出海丸 十二月廿四日 元山發
△金剛山遊覽便(元山發高城經由長箭) 每月 十日
▲濟州島行(釜山發長承浦、統營、麗水經由) 十二月二十日 釜山發
▲釜山浦項(浦項經由浦項方魚津ヨリ毎日一回出帆)
▲鬱陵島行(釜山發浦項及各地經由) 豊穗丸 十二月十七日 釜山發
▲濟州島行(木浦發東廻り、西廻り、島嶼各地經由)
昌平丸 十二月二十日 釜山發
▲濟州島行(木浦發東廻リ八島嶼各地經由)
東廻 慶興丸 十二月十六日
西廻 公州丸 十二月十九日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 每日一回出帆
▲木浦麗水線 木浦發麗水ヲ經テ釜山行
互濟丸 十二月十九日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 十二月廿二日 木浦發
▲木浦行(仁川發各地經由)
全州丸 十二月十六日 仁川發
▲海州行(仁川發江華島經由) 仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行(仁川發各港經由)
晋州丸 十二月十八日 仁川發
▲大連、青島行
江原丸 十二月廿八日 仁川發
朝鮮近海及社外船ノ荷客取扱ハ本社ノ代理店ニ御照會アレ
本社 京城南大門通(電話長二一九五二)
釜山支店 佐藤町
元山出張所 海岸通
仁川出張所 海岸通
木浦代理店 山野回漕店
京城荷客取扱店 松原運送部
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一二〇七

○米國租稅法案

一、[illegible]蔵相の説明によれば參戰後陸海軍費税[illegible]許可總額二百四十二億七千六百萬弗債務發生濟み支拂未濟四十二億五千萬弗未使用額九十五億二千八百萬弗
八十萬弗の內[illegible]
二、十二月六日[illegible]百萬弗飲料稅四億五千萬弗(煙草稅三億四千六十萬弗入場料稅五千四百萬弗奢侈品消費稅一億二千三百萬弗所得稅[illegible]七千三百八十六萬六千弗
千九百二萬六千弗の減額なるも向ほ世界を通じ歷史上最大の租税法なり但し上院共和黨員は本案に明年度[illegible]
四千萬弗徴税し得る見込)中、小改正(利得稅率引上同稅額を二億弗に增加)をなすに終る可しと觀測する者あり(東京)